

ドライブ レコーダー

DRIVE RECORDER GL-05AP

取扱説明書 本体編

この度は、弊社製品をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用になる前に、本書をよくお読みになり、本機を正しくお使いください。
なお、お読みになったあとは、大切に保管してください。

本機は、日常の運転をドライブレコーダーで記録し分析することで、安全運転についての改善や、効果的な運転管理を推進し、交通事故の防止および安全運転を促進する目的で製造販売しております。

microSDカードについての取り扱い注意事項

microSDカードの挿入／取り出しの際は、本機からDCプラグを外し、必ず本体の動作LEDが消えたことを確認してからおこなってください。

microSDカードは消耗品です。一定使用期間が過ぎるとメモリーセクターの一部が損傷されて正常な録画ができない可能性があります。microSDカードによる不具合が発生した場合は、オプションのmicroSDカードと交換してください。

microSDカードを新たに購入される場合は、オプションのドライブレコーダー専用microSDカード(GDO-SD32G1/GDO-SD64G1)をおすすめします。

画像モードを変更するとmicroSDカードメンテナンスフリー機能により、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、記録ファイルが全て消去されます。あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。

パソコンなどでmicroSDカード内の記録ファイルを変更(削除、追加、移動)しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。

パーキングモードについての注意事項

パーキングモード機能を利用する場合、オプションの常時電源コード(GDO-10)が必要になります。

Copyright © 2020 CELLSTAR INDUSTRIES Co.,Ltd. All Rights Reserved.

Cellstarは、セルスター工業株式会社の登録商標です。

microSD™はSDアソシエーションの登録商標です。

microSD Logolは登録商標です。

STARVISおよび **STARVIS** はソニー株式会社の登録商標です。

その他会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。



はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は、下記URLよりダウンロードしてください。

http://www.cellstar.co.jp/dlfrm/download_viewer.php

もくじ

はじめに

安全上の注意	4
microSDカードについての取り扱い注意事項	6
使用上の注意	7
録画についての注意事項	7
取り付けについての注意事項	7
microSDメンテナンスフリー機能について	7
パーキングモードについて	7
GPSについて	8
ディスプレイについて	8
タッチパネルについて	8
ナイトクリア ver.3について	8
DCコードについて	8
アイドリングストップ車での使用について	8
安全運転支援機能（本体カメラ・別体カメラ）について	9
GPSおしらせ機能について	9
専用ビューアソフトについて	9
カメラレンズの注意事項	9
事故発生時の注意事項	9
本体/付属品	10
付属品	10
オプション品	11
各部の名称と機能	12
本体	12
別体カメラ	13

取り付けと準備

取り付け方法	14
本体と別体カメラの設置場所（推奨）	14
フロントガラスに本機を設置する場合	15
フロントガラスへの取り付け位置（正面）	15
フロントガラスへの取り付け位置（側面）	15
フロントガラスへの取り付け	16
本体用マウントベースから本体を取り外す	16
本体用マウントベースのボールジョイントを交換する場合	16
リアガラスに別体カメラを設置する場合	17
取り付け位置（正面）	17
取り付け位置（側面）	18
リアガラスへの取り付け	18
別体カメラ用マウントベースのボールジョイントを交換する場合	19
本体と別体カメラを接続	20
接続方法	20
別体カメラの設定	20
ヒューズボックスから電源を取る場合	21
ACC線から直接電源を取る場合	21
配線処理	22
microSDカードの挿入および取り出し	23
microSDカードの挿入	23
microSDカードの取り出し	24

基本操作

製品の使用方法	25
電源のON/OFF	25
エラーメッセージ	26
ディスプレイ	27
タッチパネルについて	28
録画方法	29
録画モードについて	29
クイック録画機能（手動）	30
撮影モードについて	30
パーキングモードについて	31
パーキングモードの録画モード設定	32
パーキングモードのLED動作	33
パーキングモードの動作	33

各種設定

各種設定の変更	34
設定の変更方法（例：アイコン表示）	34
設定一覧	35
設定一覧（つづき）	36
画像モード設定「カスタム」時、設定内容一覧	37
3Gセンサー感度「カスタム」時、設定内容一覧	37
画像モード設定	38
その他の機能	39
再生モード	39
安全運転支援機能（本体カメラ）	40
前車発車警告	40
車間距離保持警告	40
車線逸脱警告	40
安全運転支援機能（本体カメラ）の設定内容一覧	40
キャリブレーション	41
車種を設定する	41
地平線（前方）を調整する	42
ボンネットを調整する	42
安全運転支援機能（別体カメラ）	43
後車接近警告	43
安全運転支援機能（別体カメラ）の設定内容一覧	43
キャリブレーション	44
地平線（別体カメラ）を調整する	44
GPSおしらせ機能	45
MyCellstarについて	46
パソコンでGPSデータをダウンロード	46
GPSデータ更新	49
GPSデータの版数確認	49
外部モニター表示	50
GPS測位について	51
災害・危機管理通報機能	52
災害・危機管理通報設定	53
災害・危機管理通報例	53
フォーマット	54
システムリセットと本体初期化+microSD	
カードフォーマット	55
システムリセット	55
本体初期化+microSDカードフォーマット	55
キャリブレーション設定	56
ドライブレコーダー専用ビューアソフトについて	57
専用ビューアソフトの動作環境	57

困ったときは

故障かな？と思ったら	58
その他	
製品の仕様	59
microSDカードのデータについて	61
アフターサービス	
アフターサービスについて	62
修理に関して	62
修理受付票	63

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

安全上の注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明していきます。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



危険

誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が切迫して想定される」内容です。



警告

誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性または物的損害*の発生の可能性が想定される」内容です。
* 物的損害とは、車両・家屋・家財などに関わる拡大損害を示します。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



この表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。具体的な強制内容は、近くに文章で示します。



この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。具体的な禁止内容は、近くに文章で示します。



この表示は、気をつけていただきたい「注意」の内容です。具体的な注意内容は、近くに文章で示します。



危険



本機は必ず定められた電圧（DC12V/24V）でご使用ください。

* 火災や感電、故障の原因となります。



運転中に本機を操作しないでください。

* 交通事故の原因となります。操作する場合は、必ず車を安全な場所に停止させ操作してください。



本機をエアバッグが作動する近くに設置しないでください。

* 事故発生時にエアバッグが正常に作動しないおそれがあります。または作動したエアバッグにより負傷の原因となります。



医療用電気機器の近くでは使用しないでください。

* ペースメーカーやその他の医療用電気機器に電波による影響を与えるおそれがあります。



水につけたり、水をかけたり、またぬれた手では絶対に操作しないでください。

* 火災や感電、故障の原因となります。



警告



本機の取り付けは、必ずエンジンを切った状態でおこなってください。

* 車両のキーがONの状態では取り付けると、感電および故障の原因となります。



本機の結合部分、スピーカーなどの穴やすき間にはピンや針などの金属を入れないでください。

* 誤って差し込まれた場合は、すぐ使用を中止し取り除いてください。火災、感電、および故障の原因となります。



本機から煙が立つ、異臭がするなどの問題が発生した場合は、すぐに使用を中止してください。

* 火災などの原因となります。



本機を急激に温度が上昇する場所に長期間放置しないでください。

* 製品の変形および火災、爆発の原因となります。



コードを外すときは、必ずプラグ部分を持って外してください。また破損やキズが付いたコードは使わないでください。

* コードが損傷したまま使用すると、感電および火災の原因となります。



本機の表面はシンナー、アルコール、ベンゼンなどの揮発性物質または有機溶剤で拭かないでください。またゴムとビニールなどを長期間接触させないでください。

* 表面の変質や塗料がはげることがあり、故障および火災の原因となります。



本機を長時間動作した場合、レンズ部分が発熱します。直接手で触れないでください。

警告

- !** 本機および別体カメラは、ガラス面に正しく取り付けてください。
- * ガラス面をきれいに拭いたあと、本機および別体カメラを正しく確実に取り付けてください。正しく取り付けしていない場合、本機および別体カメラがガラス面から外れ運転中に交通事故が発生する可能性があります。

注意

- !** 本機に強い衝撃を与えないでください。
 - * 衝撃により製品の破損や故障の原因となります。
- !** 本機の近くに磁気性がある物を置かないでください。
 - * 製品の誤作動および故障の原因となります。
- !** 本機の近くには障害になるような物を設置しないでください。
 - * 周りに障害物があるとGPSの受信に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- !** GPS機能は初期作動時、起動するまでに時間がかかります。
 - * 受信環境、気象状況、および車両の位置などにより、数秒から数分かかる場合があります。
- !** フロントガラスにメタルコーティングされた車両は GPS 受信障害が発生することがあります。
- !** 車両の AM ラジオにノイズ干渉する場合があります。
- !** トンネル入出時のように急激に明るさが変わる場合、逆光が強い場合、夜に光源がない場合などの条件では録画品質が落ちることがあります。
- !** 暗い環境では、なるべく高品質で録画するために、車両のヘッドライトやフォグランプをつけてください。
- !** フロントガラスの表面や本機のカメラレンズの表面はいつもきれいにしておいてください。
 - * ほこりや異物による乱反射や屈折現象の発生で、きれいな映像を記録することができない可能性があります。
- !** 本機は、推奨取付位置に設置してください。
 - * 推奨位置でない場所に設置されると画面がよれることがあります。
 - * 車両に応じて、よい録画ができる位置（推奨取付位置）に装着してください。
- !** LED 方式の信号機では画面がちらつく（フリッカー）ことがあります。
- !** 撮影場所の環境によっては映像にフリッカー（縞模様など）が出る場合があります。
- !** 録画状況により映像ファイルが1分以内になる場合があります。
- !** 本機の分解、修理、または改造を絶対にしないでください。
 - * 故障の原因となり保証を受けることができません。
- !** 本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。
- !** 気温の低いところから高いところに本機を移した場合、本機内に結露が生じることがあります。
 - * 結露したまま使用すると故障や発熱の原因となります。使用しないでください。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

microSDカードについての取り扱い注意事項

-  microSD カードの取り扱いには十分注意して、次の注意事項をよくお読みになりご使用ください。注意事項を守らずに発生するデータの損失および破損に関して弊社は一切の責任を負いません。
-  録画画質設定の変更や microSD カードの状態によっては、フォーマットが必要となります。
-  付属の microSD カードをフォーマットすると記録ファイルは、全て消去されます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
-  microSD カードの容量によっては、起動時間が変動（長くなったり）する場合があります。
-  市販の microSD カードを使用した場合による、本機の動作異常に関して、弊社は一切の責任を負いません。
-  microSD カードをフォーマットする際は、必ず本体のフォーマット機能でおこなってください。
-  microSD カードは消耗品です。一定使用期間が過ぎるとメモリーセクターの一部が損傷されて正常な録画ができない可能性があります。microSD カードによる不具合が発生した場合は、新しい指定の microSD カードと交換してください。
-  microSD カードを取り出す際は、必ず本体の電源が切れたことを確認してから取り外してください。
 - * 本体の電源が入っている状態で microSD カードを取り出すと、データ損失などの原因となります。
-  一般的に microSD カードには、寿命があります。（各メーカーにより異なります）
 - * microSD カードを長期間使用している、保証期間が切れているなどの原因でデータに異常が発生した場合、新しい指定の microSD カードと交換してください。
-  microSD カードを保管、または持ち歩くときは、必ずケースに入れてください。
 - * ケースに入れずに保管または持ち歩くと、静電気および外部環境の原因により内部のデータが損失されることがあります。
-  パソコンなどで microSD カード内の記録ファイルを変更（削除、追加、移動）しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。
-  microSD カードに本製品で記録されたデータ以外を格納しないでください。
 - * 正しく動作しない場合があります。
-  指定の microSD カード以外は使用しないでください。
 - * 指定以外の microSD カードを使用すると、正常に動作しない場合があります。
-  microSD カードスロットに異物を入れないでください。
 - * カードスロットの破損、または誤動作、故障の原因となります。
-  油がついた手や濡れた手で microSD カードスロットを触らないでください。
 - * microSD カードの損傷、または故障などの原因となります。
-  データのバックアップ、フォーマットおよび動作中には、絶対に microSD カードを取り出さないでください。
 - * microSD カードを損傷し、使用できなくなるおそれがあります。
-  microSD カードの分解、または改造などは、絶対にしないでください。
 - * microSD カードが破損するおそれがあります。
-  microSD カードを落下させたり、衝撃を与えないでください。
 - * microSD カードの破損、およびデータが損失されるおそれがあります。
-  microSD カードには向きがあります。挿入するときは向きを確認して、確実に最後まで差し込んでください。
 - * microSD カードが正しく挿入されていないと誤動作の原因となります。
-  microSD カードを別に購入する場合は、オプションのドライブレコーダー専用 microSD カード（GDO-SD32G1/GDO-SD64G1）をご購入ください。

使用上の注意

録画についての注意事項

- 本機は自動車などの事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機はすべての状況下で録画を保証するものではありません。
- 本機の故障や使用による損害、また録画した映像の破損や損傷によって生じた損害は、弊社は一切の責任を負いません。
- 本機の動作を確認するため、急ブレーキなど危険な運転はおやめください。
- 本機で録画した被写体は、プライバシーの侵害となる場合があります。取り扱いにご注意ください。
- LED方式の信号機では記録映像が点滅やチラつくことがあり、色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害は、弊社は一切の責任を負いません。
- 走行中に本機を操作したり、LEDランプ、ディスプレイを注視しないでください。クイック録画／撮影機能をおこなう場合、周囲の安全を確認したうえで操作してください。
- 夜間の録画した映像にノイズが入っているように見えたり、夜間の映像が白っぽく録画されることがありますが、正常動作です。
- 録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートが変わる場合があります。
- 電源ONのあと、録画の開始まで時間がかかります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。

取り付けについての注意事項

- 本機は、本書（P14参照）にしたがって、正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。また交通事故やケガの原因となります。
- 他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を受けたり、与えたりする場合があります。
- 本機は防水構造ではありません。必ず車内へ取り付けてください。
- 本機および別体カメラを取り付ける前に、必ずガラス面とマウントベースの両面テープ貼り付け部分の油分や汚れなどをしっかり拭き取り、本機および別体カメラを確実に取り付けてください。

microSDメンテナンスフリー機能について

- 設定した録画画質によって microSDカードにセルスター独自のファイルシステムが適応されます。このファイルシステムでは、microSDカードに記録する際に発生してしまうファイルの断片化を無くし、録画データのエラー発生率を低減することができ、これにより定期的なフォーマットが不要となります。
- * 画像モード設定の変更やmicroSDカードの状態によっては、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、記録ファイルが全て消去されます。
あらかじめ、パソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
- * 付属のmicroSDカードは、工場出荷時の画像モード設定でファイルシステムが適応されています。
- * 新規購入したmicroSDカードは使用前に必ずフォーマットが必要となります。
- * パソコンなどでmicroSDカード内の記録ファイルを変更（削除、追加、移動）しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。

パーキングモードについて

- パーキングモードは、必ず本機に適合したオプションの常時電源コードを使用してください。直結配線用DCコードなどを接続し、直接電源を供給できる状態では、パーキングモードを設定できません。
- パーキングモードによる車のバッテリー上がりに関して弊社は一切の責任を負いません。
- 暗い場所など録画できない場合があります。

GPSについて

- GPSの受信環境により、動作に時間がかかる場合があります。
- 前回のGPS受信から72時間を経過すると超速GPSは機能しません。その他、様々な条件により機能しない場合があります。最後に電源をOFFにしてから直線距離で300km以上離れた地点で電源をONにした場合、最後に電源をOFFにして次に電源をONしたときにGPS衛星の状態が異なる場合は、動作に時間がかかる場合があります。
- 自車位置は、GPSの受信で測位されます。GPSが受信できない場所では、完全な自車位置の測位をおこなうことができません。
- 録画データに記録される日時、車両の走行速度、位置情報は、GPSの測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります。
- 取り付けになる車両のウィンドウが熱反射ガラスの場合、電波の透過率が低いためGPSが受信しにくい場合や、できない場合があります。熱反射ガラスの使用の有無は車両のディーラーやメーカーへお問い合わせください。

ディスプレイについて

- 同じ映像を長時間や繰り返し表示（短時間でも）した場合、液晶ディスプレイの性質により画面の焼付けが起こる可能性があります。これは保証の対象になりません。ディスプレイの明るさを暗く調整することで、焼付けの発生を軽減できます。
- 液晶ディスプレイの性質により、輝点や減点が発生したりスジ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これは保証の対象になりません。
- ディスプレイを太陽に向けたままにすると、故障の原因となります。車両に設置する際にはご注意ください。
- 偏光サングラス使用時、表示が見えなくなる場合があります。

タッチパネルについて

- 走行中は、必ず同乗者が操作をおこなうか、車両を停車してから操作をおこなってください。
- タッチパネルを強く押ししたり、先の尖ったもので押さないでください。タッチパネルが割れて、ケガや故障の原因となります。
- タッチパネルの反応にズレが発生した場合、キャリブレーション設定（P56参照）にてタッチパネルを補正してください。
- 本製品のタッチパネルは感圧式のため、タップした際に、画面が沈んだような状態になりますが、正常動作です。

ナイトクリア ver.3について

- STARVIS™IMX327搭載。STARVIS（スタービス）は、 $1\mu\text{m}^2$ あたり、2000mV以上（カラー一品、706cd/ m^2 光源撮像時、F5.6、1s蓄積換算）の感度を有し、可視光領域に加え近赤外領域までの高画質を実現した、監視カメラ用途CMOSイメージセンサ用裏面照射型画素技術です。
- 走行状況によっては、白とびが発生する場合があります。ナイトクリアまたはHDRナイトクリア1～3で調整してください。（P35参照）

DCコードについて

- 本機は専用のDCコード（3極DCプラグ）を使用してください。それ以外のDCコードを使用した場合、本機が正常に動作しません。

アイドリングストップ車での使用について

- 一部のアイドリングストップ車では、再始動時に電源確保のため各部分への供給電圧が低下することがあります。これにより本体の電源が落ちる場合があります。

安全運転支援機能（本体カメラ・別体カメラ）について

- ・「キャリブレーション（安全運転支援）」にて、設置する車に合わせて調整してください。（P41・44参照）
- ・夜間や悪天候時、また昼間でも路面や走行状況によって機能が動作しない、または頻繁に警告する場合があります。
- ・取り付けはできるだけ車両の左右の中央部に取り付けてください。中央部から外れますと判定誤差が大きくなり、警告しない、または頻繁に警告する場合があります。
- ・安全運転支援機能の動作は目安です。実際の道路状況にしたがって走行してください。
- ・安全運転支援機能による事故に関し弊社は一切の責任を負いかねます。

GPSおしらせ機能について

- ・各種GPSデータは、弊社独自調査によるデータと、公表されているデータを参考に集計、作成しています。
- ・事故多発エリアは警視庁、国土交通省の統計データより集計していますが、集計の時期またその後の道路の改良などにより実際の状況と異なる場合があります。また首都圏や都市部などでは事故多発エリアが集中し警告が頻繁におこなわれる場合があります。
- ・GPSの測位状態によっては動作しない場合があります。
- ・GPSおしらせ機能を使用する場合、GPSおしらせ機能をオンにしてください。
- ・本サービスは予告なく終了させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

専用ビューアソフトについて

- ・専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は、下記URLよりダウンロードしてください。
(http://www.cellstar.co.jp/dlform/download_viewer.php)
- ・本体カメラと別体カメラの録画映像は、Windowsメディアプレーヤーなどでも再生可能です。

カメラレンズの注意事項

- ・本機の動作中、カメラのレンズ部分が発熱することがありますが、異常動作ではありません。レンズ部分は、大変熱くなっていますので直接手で触れないようご注意ください。

事故発生時の注意事項

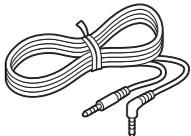
- ・本機からmicroSDカードを取り出し、付属のmicroSDカードケースに保管してください。（P24参照）
- ・パソコンでmicroSDカードを読み込んだ際、SDカードのエラーメッセージが表示する場合がありますがCHKDSK（チェックディスク）プログラムなどで修復処理をおこなわないでください。記録映像が完全に消えてしまう可能性があります。
- ・microSDカードはwindowsパソコンにインストールした専用ビューアで再生してください。スマートフォンなどでmicroSDカードを読み込むと、不要なファイルが書き込まれ、データが消えてしまうおそれがあります。

本体/付属品

付属品

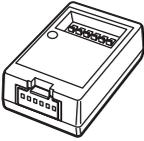
本機を使用する前に、必ず同梱物を確認してください。

* その他注意書きが同梱している場合がございます。

<input type="checkbox"/> ドライブレコーダー本体 	<input type="checkbox"/> 別体カメラ 	<input type="checkbox"/> 本体用マウントベース×1 * あらかじめ両面テープ（ガラス用）が貼られています。 	<input type="checkbox"/> 本体用ボールジョイント（ストレート用）×1 
<input type="checkbox"/> 別体カメラ用マウントベース×1 	<input type="checkbox"/> 別体カメラ用ボールジョイント（ストレート用）×1 	<input type="checkbox"/> 別体カメラ用マウントベースの両面テープ（小）（ガラス用）×1  色：黒	<input type="checkbox"/> 直結配線用 DC コード（3極 DC プラグ） 
<input type="checkbox"/> 脱脂クリーナー 	<input type="checkbox"/> microSD カード * SDカード変換アダプタ、SDカードケース付属 * ドライブレコーダー本体に挿入されています。 	<input type="checkbox"/> コードクリップ×5 	<input type="checkbox"/> カメラ接続コード  コード長：9.0m
<input type="checkbox"/> 取扱説明書（本書） 	<input type="checkbox"/> ドライブレコーダー反射ステッカー（前方後方録画 Ver.） 		

オプション品

別途お買い求めください。

品名	使用目的/仕様	品番
ドライブレコーダー専用 microSD カード 	microSD カードを新たに購入される場合は、セルスターオプションのドライブレコーダー専用 microSD カードをおすすめします。	32GB: GDO-SD32G1 64GB: GDO-SD64G1
ビデオ出力コード 	録画中の映像を外部モニターに出力する場合に使用します。(P50 参照)	GDO-08 コード長: 3.5m
常時電源コード (3 極 DC プラグ) 	パーキングモード機能を利用する場合に使用します。最大 12 時間まで電源を供給します。(P31 参照)	GDO-10 コード長: 5.0m

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフターサービス

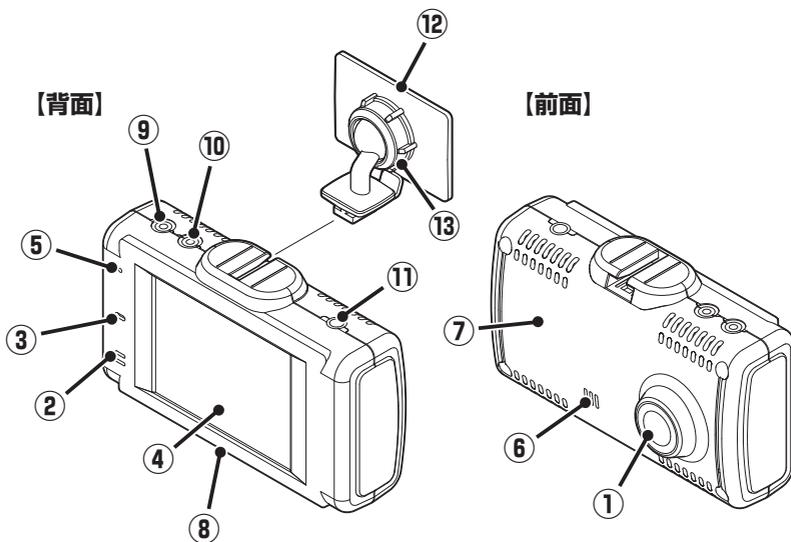


本機に適合したオプション品の型番は、弊社ホームページの接続対応表をご覧ください。

http://www.cellstar.co.jp/products/pdfs/radar_drive/taiou.pdf

各部の名称と機能

本体



① 撮影用カメラレンズ

* 出荷時に保護フィルムが貼られています。
剥がして使用してください。

② マイク

映像記録中の音声を録音します。

③ LEDランプ

本機の動作状態を表示します。

④ タッチパネルディスプレイ

カメラの録画映像、再生、設定メニューの変更画面などを表示し、タップして操作します。

* 本機を反転し、電源を入れると、ディスプレイも反転します。

⑤ リセットボタン

本機を再起動します。

⑥ スピーカー

各種警告を音声出力します。(モノラル)

⑦ GPS

GPS、みちびき、グロナス、ガリレオなどの衛星を受信します。

⑧ microSDカードスロット

付属またはオプションの microSD カードを挿入します。
* microSDカードが挿入されていないと本機は動作しません。

⑨ カメラ接続端子

カメラ接続コードで別体カメラを接続します。

⑩ V-OUT (ビデオ出力端子)

オプションのビデオ出力コードを接続します

⑪ DC12V/24Vソケット

専用の DC コード (3 極 DC プラグ) を接続し、DC12V/24V を本機に入力します。

⑫ 本体用マウントベース

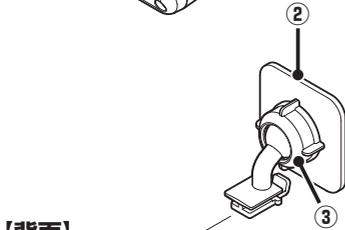
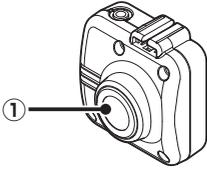
あらかじめ貼られている両面テープでフロントガラスに取り付けます。

⑬ 角度調整ノブ

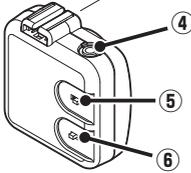
本機の取り付け角度を調整します。

別体カメラ

【前面】



【背面】



- ① **撮影用カメラレンズ**
*出荷時に保護フィルムが貼られています。
剥がして使用してください。
- ② **別体カメラ用マウントベース**
付属の両面テープ（小）でリアガラスなどに取り付けます。
- ③ **角度調整ノブ**
別体カメラの取り付け角度を調整します。
- ④ **カメラ接続端子**
カメラ接続コードで本体に接続します。
- ⑤ **上下切り替えスイッチ**
カメラ映像の上下反転時に使用します。
- ⑥ **正像鏡像切り替えスイッチ**
カメラ映像の左右反転時に使用します。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

取り付け方法

⚠ 注意

本機を車両に取り付ける前に、次の内容を確認のうえ取り付けてください。

- 本機の誤った取り付けは、道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。正しく取り付けてください。
- 本機を安全に取り付けるために、取り付け作業は明るく安全な場所でおこなってください。
- 本機を取り付ける前には、必ず車のエンジンを止め、キーを抜いた状態で取り付けてください。
- 本機に専用のDCコード（3極DCプラグ）以外のコードを使用しないでください。
- 本機および別体カメラを設置した部分のガラスは、いつもきれいに保ってください。
- 夜間走行時にはカーナビゲーションおよび、車両用モニターがフロントガラスに映り込み、記録画像に影響を与えることがあります。映り込み画像が撮影領域に入らないように角度を調整してください。
- 本機は上空からのGPS信号を受信して自車位置を記録します。そのため本体の上や前（車の進行方向）などに金属などの障害となるものがないよう取り付けてください。
- 本機は防水構造ではありません。雨などで本機やコードがぬれないようご注意ください。

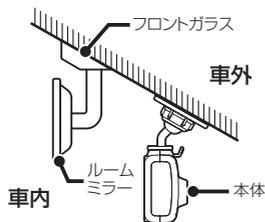
⚠ 警告

事故発生時の衝撃により本機および別体カメラが外れる場合がございます。ガラス面のマウントベースの両面テープ貼り付け部分の油分や汚れを付属の脱脂クリーナーでしっかり拭き取り、本機および別体カメラを確実に取り付けてください。

画像モードを変更するとmicroSDカードメンテナンスフリー機能により、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、記録ファイルが全て消去されます。あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。

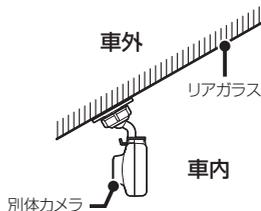
本体と別体カメラの設置場所（推奨）

■ 本体をフロントガラスに設置する場合



→P15参照

■ 別体カメラをリアガラスに設置する場合

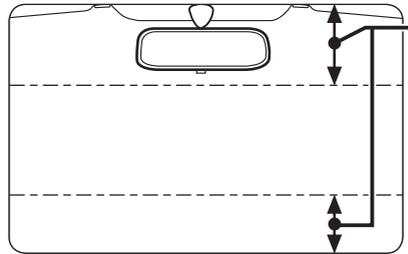


→P17参照

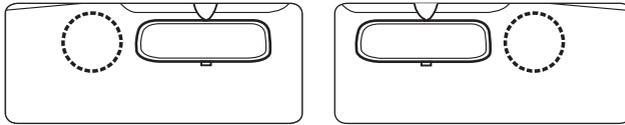
フロントガラスに本機を設置する場合

フロントガラスへの取り付け位置（正面）

フロントガラス



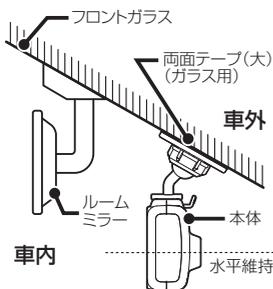
フロントガラス上部からフロントガラス全体の20%以内またはフロントガラス下部から150mm以内に取り付けてください。



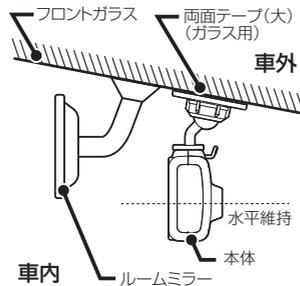
フロントガラスの中央部に設置できない場合は、広い視野角を活用してルームミラーの左、もしくは右側に設置することもできます。中央部に設置できない場合、録画映像が片方にかたよる可能性があります。

フロントガラスへの取り付け位置（側面）

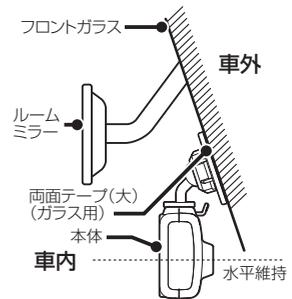
■ 一般的な乗用車



■ フロントガラスが寝ている車



■ ワンボックスやトラックなど



- 図のように前方を遮ることがないように取り付けてください。
- 本機が取り付けられた状態で、図のように本体が水平を維持するように取り付けてください。図のように水平が維持できていないと、正しい状態で録画できません。
- 本機はDCコードが接続され、電源が入った時点で画面の向きを決定します。DCコードは本体の取り付けが完了してから接続してください。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

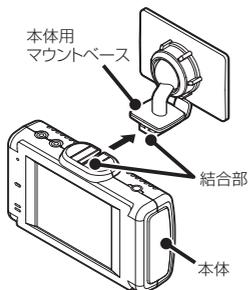
困ったときは

その他

アフターサービス

フロントガラスへの取り付け

- 1 本体用マウントベースと本体の結合部を合わせ、矢印の方向に差し込む。

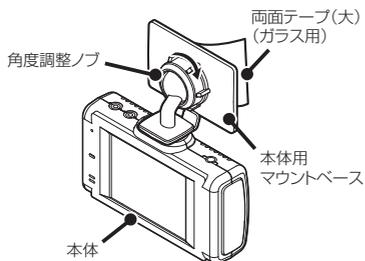


- 2 両面テープ（ガラス用）を使用して本機を設置する場所に取り付ける。

* 推奨フロントガラス設置位置を参照して、取り付けてください。

- 3 角度調整ノブを右側に回して本体を固定する。

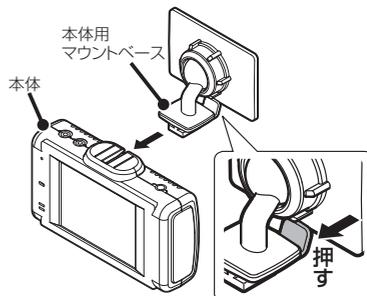
角度調整ノブを緩めると本体の取り付け角度を調整できます。



* 必要に応じて、先に本体用マウントベースを車両側に取り付けてから本体を設置してください。

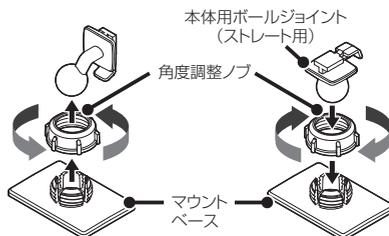
本体用マウントベースから本体を取り外す

本体用マウントベースのツメ部を押し、本体を矢印の方向に引き外します。



本体用マウントベースのボールジョイントを交換する場合

マウントベースから角度調整ノブを外し、ボールジョイント（ストレート用）に付け替えます。



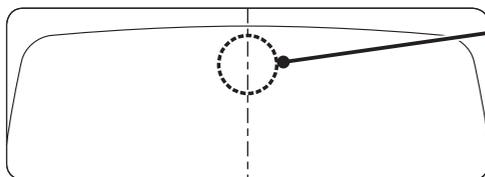
* 先に本体用ボールジョイントを角度調整ノブに差し込み、マウントベースに取り付けてください。

リアガラスに別体カメラを設置する場合

取り付け位置 (正面)

図のように後方を遮ることがないように取り付けてください。

リアガラス



リアガラスの中央位置に設置すると、最適な録画映像を得ることができます。

⚠ 注意 リアガラスに別体カメラを取り付ける前に下記内容を必ず確認してください。

- リアのサンシェードなど取り付けに問題がないことを確認してください。
- 両面テープの貼り付け面がリアガラスの熱線と重ならないように取り付けてください。
- リアガラスにプライバシーガラスやフィルムを貼られている車両は、夜間や暗い場所では録画した映像が見づらくなる場合があります。
- ラジオアンテナやGPS、地デジアンテナ付近にカメラ接続コードを配線すると、これらの受信感度が下がる場合があります。
- リアワイパーが装着された車両の場合、ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。
- リアワイパー非装着車およびワイパー拭き取り範囲外に取り付けると、リアガラスの汚れや雨などにより録画記録映像が見づらくなる場合があります。
- エアバックの動作や運転の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ハイマウントストップランプの光や、後続車両のライトにより録画した映像が見づらくなる場合があります。
- 取り付けにより車両に問題が発生した場合、弊社は一切の責任を負いません。
- 後方の安全運転支援機能（煽り運転防止）を有効にするにはキャリブレーション設定をおこなってください。（P43参照）

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

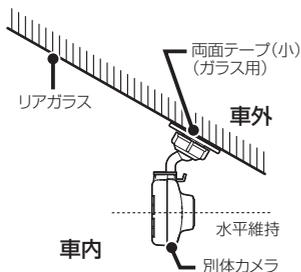
その他

アフターサービス

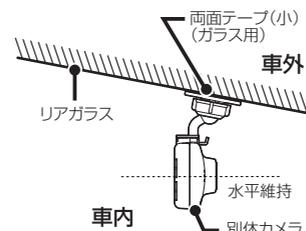
取り付け位置（側面）

- ・図のように後方を遮ることがないように取り付けてください。
- ・別体カメラが取り付けいた状態で、図のように別体カメラが水平を維持するように取り付けてください。図のように水平が維持できていないと、正しい状態で録画できません。
- ・取り付け場所によっては、リアガラスの熱線やプライバシーガラスが映像の邪魔となる場合があります。

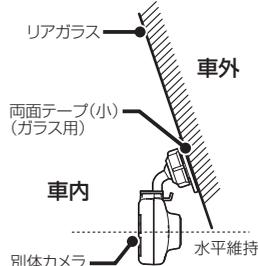
■ 一般的な乗用車



■ リアガラスが寝ている車

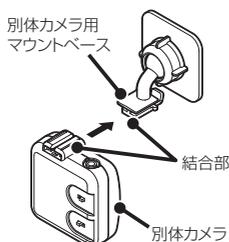


■ ワンボックスやトラックなど



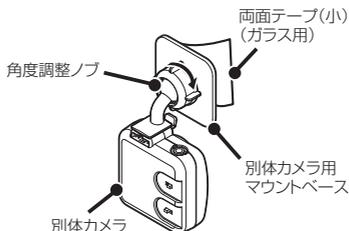
リアガラスへの取り付け

- 1 別体カメラ用マウントベースと別体カメラの結合部を合わせ、矢印の方向に差し込む。
- 2 両面テープ（ガラス用）を使用して別体カメラを設置する場所に取り付ける。



* 推奨の設置位置を参照して、熱線を避けて取り付けてください。

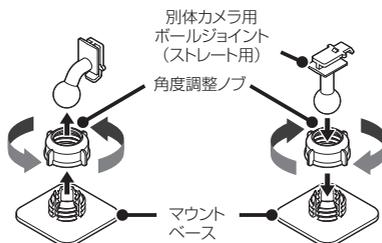
- 3 角度調整ノブを右側に回して別体カメラを固定する。
角度調整ノブを緩めると別体カメラの取り付け角度を調整できます。



- * 必要に応じて、先に別体カメラ用マウントベースを車両側に取り付けてから別体カメラを設置してください。
- * 別体カメラの正像鏡像切り替えスイッチをM（鏡像）に変更してください。（P20参照）

別体カメラ用マウントベースのボールジョイントを交換する場合

別体カメラ用マウントベースから角度調整ノブを外し、別体カメラ用ボールジョイント（ストレート用）に付け替えます。



* 先に別体カメラ用ボールジョイントを角度調整ノブに差し込み、マウントベースに取り付けてください。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

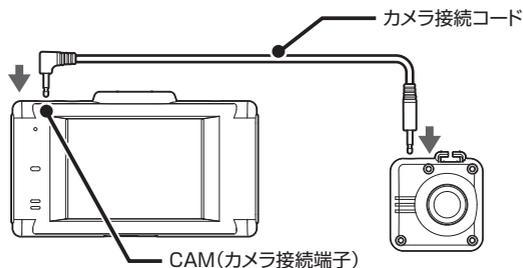
その他

アフターサービス

本体と別体カメラを接続

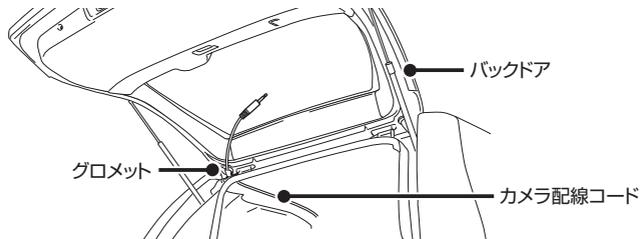
接続方法

付属のカメラ接続コードで本体と別体カメラを接続します。



✓ アドバイス

別体カメラに接続するカメラ接続コードのコネクタはストレート型になっており、バックドアのグロメット内を通して配線しやすくなっています。



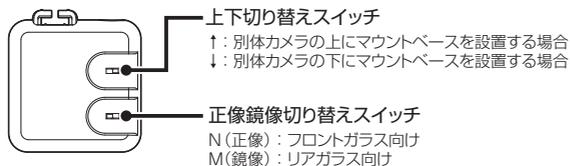
⚠ 注意

・カメラ接続コードのプラグを奥までしっかりと差し込んでください。

別体カメラの設定

別体カメラの設置場所に合わせて別体カメラの設定を変更します。

■ 推奨設定

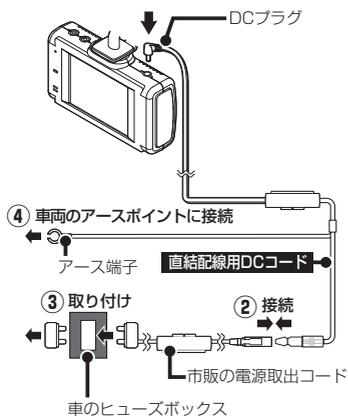


ヒューズボックスから電源を取る場合

・取り付けには専門的な知識を必要とします。
お買い求めになったお店での取り付けをお勧めします。

市販の電源取出コード (平型ヒューズタイプ) を使用して、ヒューズボックスから電源を取ることができます。

- 1 ACC オン/オフに連動するヒューズボックス内のヒューズ (シガーライター、ラジオなど) を探す
- 2 直結配線用DCコードと電源取出コードを接続する
- 3 ヒューズボックスのヒューズを抜き、電源取出コードをバッテリー側に差し込む
- 4 直結配線用DCコードのアース端子を車両のアースポイントに接続する



✓ アドバイス

エンジンをかけて本機の電源が入らない場合は、以下の点を点検してください。

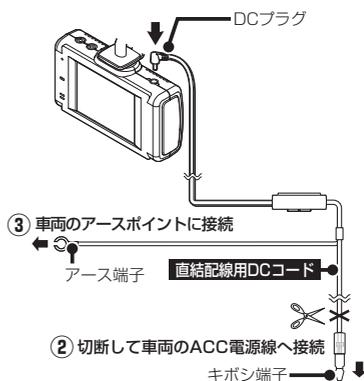
- ・コード類の接続
- ・車、またはDCコード内のヒューズ

ACC線から直接電源を取る場合

・取り付けには専門的な知識を必要とします。
お買い求めになったお店での取り付けをお勧めします。

市販のエレクトロタップなどを使用して、車両のACC電源線から直接電源を取ることができます。

- 1 テスターなどで、車のキーをACC オンにしたときに12Vまたは24V、オフにしたときに0VになるACC電源線を探す
- 2 直結配線用DCコードのギボシ端子を切り落とし、市販のエレクトロタップなどを使用して車両のACC電源線へ接続する
- 3 直結配線用DCコードのアース端子を車両のアースポイントに接続する



⚠ 注意

アース端子接続

アース端子は車両のアースポイントに接続してください。

【取り付けに適している場所】

車の塗装のアースポイント (コンピューター、リレーなどのアースコードを直接ボディに接続しているところ)

【取り付けに適さない場所】

- ・アンダーダッシュやセンターコンソールなど樹脂を止めているネジ (タッピングネジなど)
- ・チルトステアリング装備車で、ステアリングと一緒に動作 (上下) する金属部分

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

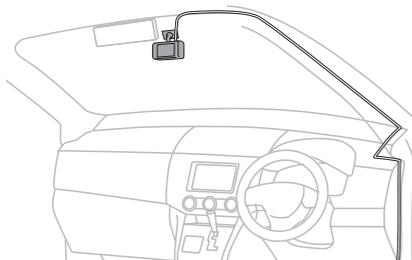
その他

サブタイ

配線処理

コード類は運転の妨げとならないように、付属のコードクリップなどを利用して、配線処理してください。

余分なコード類はビニールテープなどでしっかり束ねてください。コード類を表面に出したくない場合は、ガラスと内張りなどの隙間やパッキン類の隙間に入れます。



⚠ 注意

- 配線の際、エアバッグの内蔵されている内張りなどの周囲では、十分に注意して作業をおこなってください。また、エアバッグの内蔵されている部品などを外さないでください。コードが可動部分に挟み込まれたり、無理に曲げたりしないように配線処理してください。
- コードを車のダッシュボードなどに固定した場合は、ダッシュボードなどの材質や使用環境により、コードの被覆がダッシュボードなどに色移りする場合があります。十分ご注意ください。

microSDカードの挿入および取り出し



microSD カードを使う前に、次の内容を確認してご使用ください。

- microSDカードは、付属のmicroSDカードをご使用ください。また、microSDカードは、本機に挿入されています。指定以外のmicroSDカードを使用されると、データの損失や記録できない可能性があります。
- microSDカードを本体電源が入った状態で抜き差ししないでください。本機が正常に動作しない場合があります。
- microSDカードを取り出すときは、本機からDCコードを外し、必ず本体の動作LEDが消えたことを確認してください。その後microSDカードを取り出してください。動作LEDが点灯している状態でmicroSDカードを取り出すと録画を終了することができず、記録映像が中断されるか一部分が削除されるなど、場合によってはmicroSDカードが破損するおそれがあります。
- microSDカードをフォーマットする際は、必ず本体のフォーマット機能でおこなってください。
- 付属のmicroSDカードをフォーマット、または画像モードを変更すると、記録ファイルは全て消去されます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
- microSDカードの容量によっては、起動時間が変動（長くなったり）する場合があります。
- パソコンなどでmicroSDカード内の記録ファイルを変更（削除、追加、移動）しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。
- 本体の設定情報は、microSDカード内に保存されています。本機以外でフォーマットや新たなmicroSDカードを使用すると、設定情報が無いため、本機の設定は初期値に戻ります。

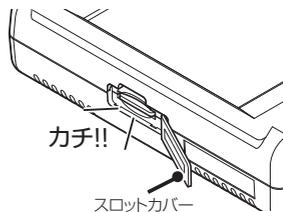
microSDカードの挿入

* microSDカードは本機の動作中、挿入または取り出ししないでください。

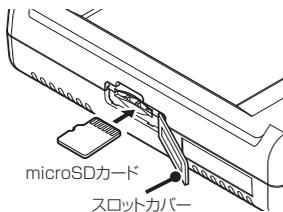
1 DCコードを外し、電源OFFになっていることを確認する。



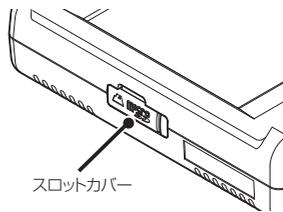
3 microSDカードがスロット内部に確実に差し込まれたことを確認する。



2 本体のスロットカバーをめくり、microSDカードの向きに注意してスロットに差し込む。



4 スロットカバーを閉じる。



はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフターサービス

5 DCコードを接続する。



⚠ 注意

- microSDカードが挿入されていないと本機は動作しません。
- microSDカードには向きがあります。差し込む向きに注意して最後まで確実に挿入してください。正しく挿入されていないとmicroSDカードの破損、および誤動作の原因になります。
- microSDカードの接続端子には手を触れないでください。汚れや異物が付着するとカード内のデータが損失するおそれがあります。

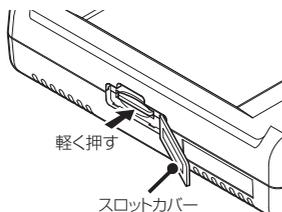
microSDカードの取り出し

* microSDカードは本機の動作中、挿入または取り出ししないでください。

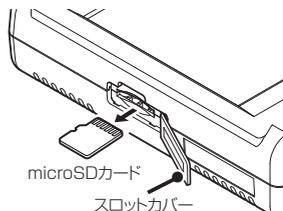
1 DCコードを外し、電源OFFになっていることを確認する。



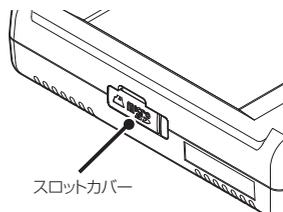
2 本体のスロットカバーをめくり、microSDカードを軽く押し込む。



3 microSDカードを取り出す。



4 microSDカードを取り出したあと、スロットカバーを閉じる。



製品の使用方法



注意

製品を使用する前に次の内容を熟知してください。

- 車の運転中は本機の操作を絶対にしないでください。
- 映像の記録は、microSDカードが正しく挿入されているときのみ可能です。
- 映像の記録中にmicroSDカードが取り出されると警告音がなり、記録の映像の一部が削除される場合があります。
- 電源ONのあと、録画の開始まで時間がかかります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。

電源のON/OFF

Dvr-GALUDA

■ 電源のON

本機には電源ボタンがありません。電源を入れるには、DCコードが車両に繋がれている状態で車のエンジンをかけます。

電源が投入されると、LEDが点灯し、効果音が鳴りディスプレイにオープニング画面が流れたあと、ボイスアシストでお知らせし、常時録画を開始します。

- * ディスプレイに画面を表示させない場合は、設定メニューの「画面表示」をオフにしてください。(P36参照)
- * 画像モード設定によりディスプレイに表示されるカメラ映像の解像度は異なります。
- * 電源をONにした時に画面の向きを自動的に反転して調整します。

■ 電源のOFF

エンジンを停止させると最後の録画ファイルを安全に保存し、LEDが消灯し、効果音のあと電源が自動的にOFFになります。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

エラーメッセージ

SD カード認識エラー
SD カードが「挿入されていない」
「フォーマットされていない」
「破損している」などの異常です。

■ microSDカード認識エラー

microSDカードが「挿入されていない」、「フォーマットされていない」、「破損している」などの異常が発生した場合、LEDが消灯し、効果音とボイスアシストが出力され、本機のディスプレイに左のエラーを表示します。

* フォーマットしてもディスプレイに「SDカード認識エラー」を表示する場合は、新しいmicroSDカードに交換してください。

ボイスアシスト：SDカードを認識しません。

SD カードのファイルシステム、
またはアロケーションサイズが間違っています。
(フォーマットするとデータは全て消去されます)

実行

■ microSDカードファイルシステムエラー

新しいmicroSDカードと交換してmicroSDカードのファイルシステム、またはアロケーションサイズが違ってしまった場合、LEDが消灯し、効果音が出力され、本機のディスプレイに左のエラーを表示し、フォーマットの確認をおこないます。

カメラに異常があります。
カスタマーサービスまで
ご連絡ください。

■ カメラ異常エラー

カメラの初期化エラーなどが発生した場合、LEDが消灯し、効果音が出力され、本機のディスプレイに左のエラーを表示します。

* ディスプレイに「カメラに異常があります」を表示した場合は、システムリセットまたは本体初期化+microSDカードフォーマットをおこなってください。(P55参照)

SD カードエラー
SD カードに異常があります。
SD を交換してください。

■ microSDカード異常エラー

microSDカードの書き込み禁止モードを検知した場合に表示します。

* 新しいmicroSDカードに交換してください。

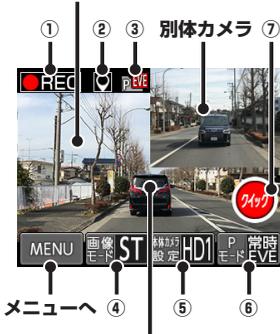
ディスプレイ

本機が起動すると、次の画面を表示します。

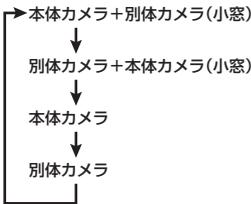
画面をタップして、設定メニューの変更または録画映像の再生ができます。

- * 再生する場合は「再生モード」(P39参照)、設定メニューの変更は「設定の変更方法」(P34～37参照)をご覧ください。
- * 別体カメラを接続していない場合、上部に別体カメラ未接続アイコン (別体カ) を表示し、小窓は表示されません。
- * 工場出荷時の表示状態となります。設定の「別体カメラ表示」をメインに変更するとメイン画面が本体カメラから別体カメラの映像に切り替わります。
- * アイコン表示オフ、V-OUT時は、画面をタップするとモード切り替え画面に切り替わります。

本体カメラ



別体カメラ接続時、画面をロングタップ (3秒後指を離す動作) すると、ディスプレイに表示される映像が次のように切り替わります。



■ 画面アイコンの種類

アイコン	内容
① 録画モード	<ul style="list-style-type: none"> REC 常時録画の状態 アイコンをタップするとクイック録画を開始します。 EVENT イベント録画の状態 QUICK クイック録画の状態
② GPS	<ul style="list-style-type: none"> GPS GPSを測位するとアイコンが表示されます。
③ パーキングモードアイコン	<ul style="list-style-type: none"> P.EVE パーキングモードのイベント録画ファイルが記録されています。 P.MO パーキングモードのモーション録画ファイルが記録されています。 P.EVE MO パーキングモードのイベントとモーション録画ファイルが記録されています。
④ 本体カメラの画像モード設定	<ul style="list-style-type: none"> CU カスタム HI 高画質 ST 標準 LO 長時間
⑤ 本体カメラ設定	<ul style="list-style-type: none"> NM ノーマル HDR HDR NC ナイトクリア HDI HDR+ナイトクリア 1 HDI2 HDR+ナイトクリア 2 HDI3 HDR+ナイトクリア 3
⑥ パーキングモード設定	<ul style="list-style-type: none"> 常時 オン 常時 MO オン モーション EVE オン 常時+イベント MO EVE オン モーション+イベント OFF オフ
⑦ クイック録画ボタン	<ul style="list-style-type: none"> Quick アイコンをタップするとクイック録画を開始します。 * アイコン表示のオン/オフ設定可能。(P36参照)

* 設定メニューの「アイコン表示」をオフにすると非表示にできます。(P36参照)

* インポーズ記録をオンにすると、記録映像の上に重ねて現在の日時情報、現在地の緯度経度、走行速度を録画できます (P36参照)

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

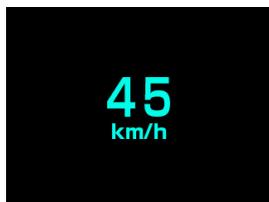
その他

サブタイ

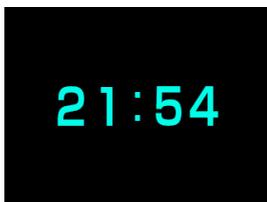
製品の使用方法（つづき）

設定メニューの「画面表示」で速度または時計に設定し、表示することができます。（P36参照）

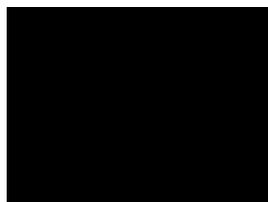
- * 画面をタップするとカメラ映像を表示して、メニューやクイック録画の操作が可能になります。
- * カメラ映像を表示していない場合も録画されます。



速度



時計

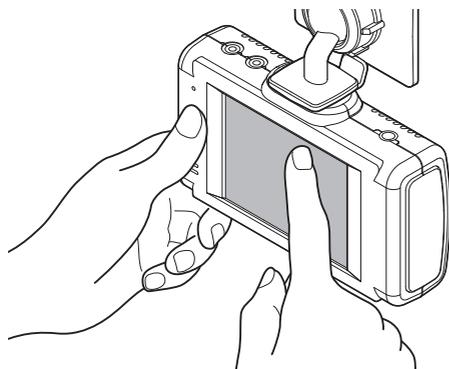


オフまたはオールオフ

- * GPSが未測位のときは「--km/h」と表示されます。

タッチパネルについて

本機の操作は、タッチパネルに直接触れて（タップして）おこないます。操作する際は、本機を図のように片手で支え、画面に表示されたボタンを指先でタップしてください。



タッチパネルの操作

タップ：画面をタッチして、すぐ指を離す動作

ロングタップ：画面をタッチして、3秒後に指を離す動作

⚠ 注意

- 市販の液晶保護シートやシールを貼ると、スムーズに動かなくなる場合があります。
- 片手で本機を支えながらタッチパネルを操作してください。本機の傾き方が変化するとGセンサーによって機能の一部に影響が出る場合があります。誤作動を起こした場合は、傾きを戻し電源を入れなおしてください。
- 操作の実行は、タッチパネルをタップして指を離れたときに判定されます。またタップした場所と指を離れた場所が大きく移動していた場合、正しく判定されない場合があります。
- 本機のタッチパネルは感圧式です。しっかりタップして操作してください。また2箇所以上同時に押すと誤作動の原因となります。
- 本製品のタッチパネルは感圧式のため、タップした際に、画面が沈んだような状態になりますが、正常動作です。

- * タッチパネルの反応にズレが発生した場合、キャリブレーション設定（P56参照）にてタッチパネルを補正してください。

⚠ 注意

製品を使用する前に次の内容を熟知してください。

- 走行中は、本製品を絶対に操作しないでください。交通事故の原因となります。走行中は、必ず同乗者が操作をおこなうか、車両を停車してから操作をおこなってください。
- タッチパネルを強く押ししたり、先の尖ったもので押さないでください。タッチパネルが割れて、ケガや故障の原因となります。
- タッチパネルの汚れは市販の眼鏡拭きなどで乾拭きしてください。水、有機溶剤および酸・アルカリなどの薬品で表面を拭くと故障の原因となります。

録画方法

録画モードについて

本機が動作すると同時にLEDが点滅し、常時録画が自動的に開始します。

録画モードの状態は、画面アイコンで確認できます。(P27参照)

* 記録中の音声録音しない場合、設定で「音声録音」をオフにしてください。(P35参照)

常時録画モードとイベント録画モード

■ 常時録画モード

LED が点滅し、1分単位で録画し続けます。



* パーキングモードでは常時録画、画質の設定によって1〜7分まで変動します。

■ イベント録画モード (自動)

常時録画中にイベント (走行中の外部衝撃や事故) が発生した場合、常時録画を中断して、効果音とLEDが点滅 (速い) し、前後のイベント録画ファイルを生じます。イベント録画モード後、常時録画モードに戻ります。



* 常時録画はイベント発生まで録画します。

- * イベントとは、衝撃を検知した場合という意味で使用しています。センサーが高感度に設定されている場合、細かな衝撃も検知します。センサー感度が低感度に設定されている場合、強い衝撃のみ検知します。「3Gセンサー感度(P35参照)」で調整することができます。
- * 車や運転の状態など様々な要因により、イベント録画にならない場合があります。
- * 記録映像がmicroSDカードの容量を超えた場合、古い記録映像データから順次自動消去されます。
- * 常時録画とイベント録画で生成されたファイルは指定のフォルダに保存されます。
- * 常時録画 (microSDカード総容量の73%)、イベント録画 (microSDカード総容量の20%) で分割管理されています。
- * 本体カメラと別体カメラの記録映像は、前後2つのファイルで保存されます。Windowsメディアプレーヤーなど専用ビューアソフト以外でも映像を再生できます。
- * 録画モードでイベント録画 (手動による撮影も含む) をおこなっている最中は、タッチパネルの操作を受け付けません。タッチパネルの操作をおこなう場合は、常時録画中におこなってください。
- * 録画中の状況により、録画のビットレートは可変します。
- * 事故等発生した場合、録画ファイルを上書きしないよう、本機からmicroSDカードを取り出して保管してください。
- * スーパーキャパシタ (蓄電能力を持つコンデンサ) により、事故の衝撃で電源ケーブルが外れてしまっても録画映像を正常に保存します。

microSDカードの保存先とファイル名について

録画モード	保存フォルダ名	ファイル名	最大保存容量
常時録画モード	INFINITE	通常時	: NNF_****.avi
		パーキングモード	: PNF_****.avi
		パーキングモード (モーション)	: PMF_****.avi
イベント録画モード	EVENT	通常時	: NEF_****.avi
		パーキングモード	: PEF_****.avi

* ファイル名の **** には、年月日-時分秒が入ります。例: 200401-101010は、2020年4月1日10時10分10秒です。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

サブタイ

クイック録画機能（手動）

イベントを手動で録画するための機能です。記録映像はmicroSDカードの[EVENT]フォルダに保存されます。

- * 「アイコン表示」をオンにしてください。（P36参照）
- * V-OUT（ビデオ出力）がオン時または、画面表示がオフ時は動作しません。
- * 録画映像は、クイック録画を開始した5秒前と20秒後を含み記録します。
- * この機能は、本機がイベント録画中である場合は使用できません。
- * 画面表示が時計、速度、オフの場合、画面をタップするとカメラ映像を表示して操作が可能になります。

1 本機の動作中に左上の【●REC】または【クイック録画ボタン】をタップする。



【クイック録画ボタン】

効果音とLED点滅（速い）し、イベント録画をおこないます。



撮影モードについて

静止画を手動撮影するためのモードです。撮影した画像（JPGファイル）はmicroSDカードの[CAPTURE]フォルダに保存されます。

- * microSDカード総容量の2%に保存可能です。最大容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます。
- * 撮影された静止画（JPGファイル）は、本機や専用ビューアソフトで表示できません。直接パソコンなどでmicroSDカードから参照してください。
- * 画面表示が時計、速度、オフの場合、画面をタップするとカメラ映像を表示して操作が可能になります。

1 画面の左下のMENUボタンをタップして、モード切替え画面に切り替える。



2 【撮影モード】を選択（タップ）する。



3 【カメラアイコン】をタップする。



カメラアイコン以外をタップすると、撮影機能を終了します。

パーキングモードについて

本機に適合したオプションの常時電源コード (GDO-10) を使用するとタイマー機能、電圧監視機能により、最大12時間本機に電源を供給します。

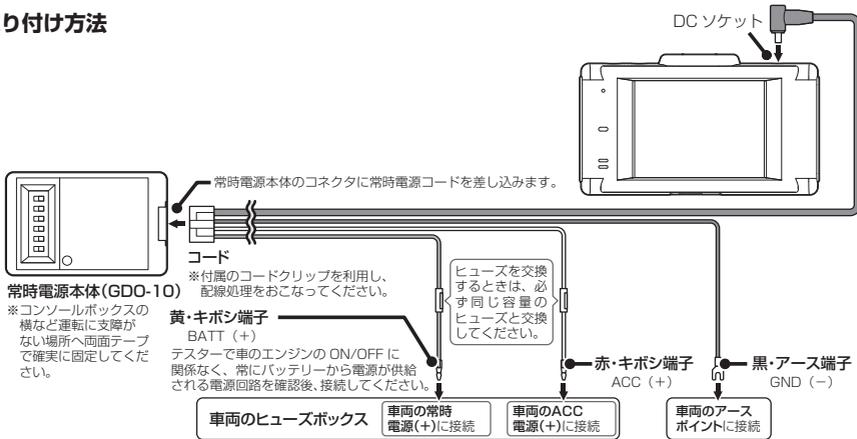
録画方式は常時、モーション、常時+イベント、モーション+イベントから選択できます。

パーキングモードは、エンジンを停止しACCがOFFになってから約6秒後に作動します。(画面が消え、LEDが遅く点滅します。) エンジンを始動し、ACCがONになると、約6秒後にパーキングモードを解除し、常時録画をおこないます。

警告

- ・パーキングモードは、必ず本機に適合したオプションの常時電源コードを使用してください。
- ・パーキングモードによる車のバッテリー上がりに関して弊社は一切の責任を負いません。お客様自身にて、定期的なバッテリー点検をおすすめいたします。
- ・暗い場所など録画できない場合があります。
- ・パーキングモードの設定を「オフ」にしても電源が供給されます。完全に電源の供給をオフにするには、常時電源コードの時間設定を「0時間」にしてください。
- ・パーキングモードは、周囲の状況により、正常に動作しない場合があります。
- ・オプションの常時電源コード (GDO-05) は使用できません。
- ・車両がスリープモード時に電圧降下しない電源に配線してください。

取り付け方法



- * オプションの常時電源コードに付属の取扱説明書をよく読み、正しく設定の上、ACCがOFFの時に接続してください。
- * 本機がオプションの常時電源コードを認識できない場合やパーキングモード中、DCコードを抜いた場合、エンジンをOFFにし、本体LED消灯を確認後、エンジンをかけなおしてください。

パーキングモードの録画仕様について

画像	D1 (別体カメラ: D1)
画質	低
明るさ	中
コントラスト	中

- * パーキングモードのバッテリー電源供給時間は、常時電源コードのディップスイッチの設定で動作します。詳しくは、オプションの常時電源コードに付属の取扱説明書をお読みください。
- * カメラ接続コードが外れたなど、別体カメラを認識していない場合、本体カメラだけで録画されます。

パーキングモードの録画モード設定



1 画面の左下のMENUボタンをタップして、モード切替え画面に切り替える。

2 【設定モード】を選択（タップ）する。



3 【▼】をタップして画面をスクロールさせ、【パーキングモード】をタップする。



4 録画モードを選択（タップ）する。

* 録画モードはP29参照。

設定を終了して録画モードに戻る場合は、画面右部の【戻る】をタップしてモード切替え画面まで戻り、【録画モード】をタップします。



常時電源コードが接続されると、画面に「パーキングモード設定」のアイコンを表示します。

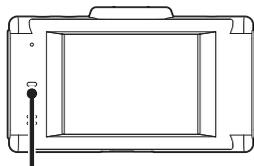
* パーキングモードのアイコンは、パーキングモードの録画モードにより異なります。(P27参照)

パーキングモードの録画モード

オン 常時	常時録画を記録しつづけます。(古いファイルは消去されます。)
オン モーション	本機のカメラがモーション（動作）を検知した場合、常時録画を 1 ファイル記録します。
オン 常時+イベント	常時録画とイベント録画をおこないます。イベントが発生した場合、1 ファイルに 25 秒（前 5 秒、後 20 秒）のイベント録画を記録します。
オン モーション+イベント	本機のカメラがモーション（動作）を検知した場合、常時録画を 1 ファイル記録し、イベントが発生した場合、1 ファイルに 25 秒（前 5 秒、後 20 秒）のイベント録画を記録します。

* パーキングモードでは常時録画、画質の設定によって 1～7 分まで変動します。

パーキングモードのLED動作



LED ランプ

常時録画	遅い点滅
モーション録画	検知：遅い点滅
	待機中：遅い2回点滅
イベント録画	速い点滅

パーキングモードの動作

エンジンを停止し、ACCがオフになってから6秒後、パーキングモードが作動し、画面が消え、録画モードの状態をLEDの点滅で表示します。

- パーキングモードの動作中、【REC】もしくは【クイック】をタップすると、LEDが速く点滅し、クイック録画をおこないます。録画後、LEDが遅く点滅します。
- パーキングモードの動作中、V-OUT（ビデオ出力）はオフになります。

パーキングモードの動作中、イベントが発生した場合

エンジンをオンにし、本機が起動した際に「録画ファイルがあります。」と音声出力し、「パーキングモード」のアイコンを表示します。次回起動時、アイコンは消えます。（P27参照）



【パーキングモードアイコン】



microSDカードのEVENTフォルダに保存されます。

- * パーキングモード中のイベント録画の感度は、パーキングモード感度にて調整してください。
- * イベント録画が発生した初回の起動時のみおしらせします。

パーキングモードの動作中、モーション録画が発生した場合

エンジンをオンにし、本機が起動した際に「録画ファイルがあります。」と音声出力し、「パーキングモード」のアイコンを表示します。次回起動時、アイコンは消えます。（P27参照）



【パーキングモードアイコン】



microSDカードのINFINITEフォルダに保存されます。

- * モーション録画が発生した初回の起動時のみおしらせします。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフターサービス

各種設定の変更

設定の変更方法（例：アイコン表示）

35～37ページの各設定メニューを変更する場合は、以下の手順でおこないます。

専用ビューアソフトで本体の設定も可能です。詳しくは、ダウンロードした専用ビューアソフトの説明書をご覧ください。

* 設定中は、録画はできません。

* 設定メニュー画面にて1分以上操作がない場合は、自動的に録画モードに切り替わります。



1 画面の左下のMENUボタンをタップして、モード切替え画面に切り替える。

* アイコン表示オフ、V-OUT時は、画面をタップするとモード切り替え画面に切り替えます。



2 【設定モード】を選択（タップ）する。



3 設定モード画面右部の【▲ ▼】をタップして、変更する設定メニューを選ぶ。



4 変更したい設定項目を選択（タップ）し、設定内容を切り替える。
設定項目が多い場合は、画面右側の【▲▼】をタップし、項目をスクロールさせます。



5 引き続き他の設定を変更する場合は、画面右部の【戻る】をタップして設定モード画面まで戻り、画面右部の【▲ ▼】をタップして、設定メニューを選ぶ。

設定を終了して録画モードに戻る場合は、画面右部の【戻る】をタップしてモード切替え画面まで戻り、【録画モード】をタップします。

設定一覧

* 設定値は初期設定のものです。

メインメニュー	設定値	設定項目
音量調整	2	3 : 音量を (大) にします。 2 : 音量を (中) にします。 1 : 音量を (小) にします。 0 : 音量を (無) にします。
画像モード設定	高画質	高画質 : 録画画質を高画質に適した設定にします。 標準 : 録画画質を標準的な設定にします。 長時間 : 録画画質を長時間録画に適した設定にします。 カスタム : 録画画質などの設定をお好みで設定できます。(P37 参照) 設定方法は、38 ページを参照してください。
本体カメラ設定	HDR ナイトクリア 1	ノーマル : HDR、ナイトクリアによる画像補正をおこないません。 HDR : HDR による画像補正をおこない、急激な明るさの変化が発生しても白トビや黒ツブレを低減します。 ナイトクリア : ナイトクリアによる画像補正をおこないません。 : STARVIS により、夜間・トンネルなど光量の少ない場所でも鮮明な映像を記録できます。HDR による画像補正はおこないません。
別体カメラ設定	HDR ナイトクリア 1	HDR ナイトクリア 1 : HDR とナイトクリアによる画像補正をおこないます。 ナイトクリアによる光量の効果は (小) です。 HDR ナイトクリア 2 : HDR とナイトクリアによる画像補正をおこないます。 ナイトクリアによる光量の効果は (中) です。 HDR ナイトクリア 3 : HDR とナイトクリアによる画像補正をおこないます。 ナイトクリアによる光量の効果は (大) です。
別体カメラ表示	オン	オン : 本体カメラをメイン、別体カメラを小窓で表示します。 オン 優先 : 別体カメラをメイン、本体カメラを小窓で表示します。 オフ : 別体カメラを非表示にします。 メイン : 別体カメラをメインで表示します。
音声録音	オン	オン オフ
3G センサー感度	6	10 : 3G センサーを高感度に設定します。 9 8 7 6 5 4 3 2 1 : 3G センサーを低感度に設定します。 カスタム : 3G センサーの設定をお好みで設定できます。(P37 参照)
録画モード	オン 常時+イベント	常時 : 常時録画 (1 分単位) します。 常時+イベント : 常時+イベント録画します。
画面明るさ	4	4 : ディスプレイの輝度を最大にします。 3 2 1 : ディスプレイの輝度を最小にします。
ディマー	オン	オン : ディマー機能を設定します。 オフ : ディマー機能を設定しません。 * ディマーを「オン」にすると、4月～10月は18:00～5:00、11月～3月は17:00～6:00にディスプレイの輝度を自動で下げます。
ボイス	オン	オン : 音声案内をおこないます。 オフ : 音声案内をおこないません。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

サブタイ

設定一覧 (つづき)

- * 設定値は初期設定のものです。
- * は常時電源コード接続時、項目が表示されます。

メインメニュー	設定値	設定項目		
画面表示	オン	オン : カメラ映像を表示します。 オン 時計 : ディスプレイに時計を表示します。 オン 速度 : ディスプレイに速度を表示します。 オフ : 画面表示しません。 オールオフ : 画面、LED、ボイスをオフにします。		
クイック録画ボタン表示	オン	オン : ディスプレイにクイック録画ボタンを表示します。 オフ : ディスプレイにクイック録画ボタンを表示しません。		
アイコン表示	オン	オン : ディスプレイにアイコンを表示します。 オフ : ディスプレイにアイコンを表示しません。		
インポーズ記録	オン	オン : 録画映像の画面に日付情報、現在地の緯度経度、走行速度を記録します。 オフ : 録画映像の画面に日付情報、現在地の緯度経度、走行速度を記録しません。		
V-OUT (ビデオ出力)	オフ	オン : 外部モニターに録画中の映像を出力します。 オフ : 外部モニターに録画中の映像を出力しません。		
位置情報取得	オン	オン : GPS から位置情報を取得し記録、表示します。 オフ : GPS から位置情報を取得しません。		
GPS おしらせ機能	小学校、中学校以外オン	取締機 : オービスなど速度取締機の設置ポイントをお知らせします。 高速道逆走注意エリア : 高速道路上の逆走が発生しやすいエリアをお知らせします。 ゾーン30 : 生活道路における歩行者などの安全な通行を確保することを目的として、制限速度30キロに設定された区域 (ゾーン30) をお知らせします。 事故多発エリア : 事故発生率の高いエリアです。 事故多発路線 : 事故発生率の高い路線です。 小学校 : 学校付近でお知らせします。 中学校 : 学校付近でお知らせします。 データ情報 : GPS データの版数を確認します。		
		最優先 : オン 優先 : オン 通常 : オフ	オン : 割り込みます。 オフ : 割り込みません。	
		—	P40 参照	
		—	P43 参照	
		パーキングモード	オン 常時+イベント	オン 常時 オン モーション オン 常時+イベント オン モーション+イベント オフ
		パーキングモード感度	6	10 : パーキングモード中のイベント録画の3Gセンサーを高感度に設定します。 9 8 7 6 5 4 3 2 1 : パーキングモード中のイベント録画の3Gセンサーを低感度に設定します。
フォーマット	—	フォーマットの操作方法は、54 ページを参照してください。		
キャリブレーション設定	—	キャリブレーション設定の操作方法は、56 ページを参照してください。		

画像モード設定「カスタム」時、設定内容一覧

* 設定値は初期設定のものです。

カスタム	設定値	設定項目
画像	D1	FHD : 1920×1080 ピクセル HD : 1280×720 ピクセル D1 : 720×480 ピクセル
画質	低	高標準 低
明るさ	中	明 中 暗
コントラスト	中	高 中 低

3Gセンサー感度「カスタム」時、設定内容一覧

* 設定値は初期設定のものです。

カスタム	設定値	設定項目
前後	6	10 : 3G センサーを高感度に設定します。
		9
		8
		7
左右		6
		5
		4
		3
		2
上下		1
	オフ	: 3G センサーをオフに設定します。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

スマートフォン

画像モード設定

画像モード設定では、録画画像の画質や画像サイズなど細かな設定を各モードにあわせた最適な内容に設定してあります。走行時の状況やお好みにあわせて変更することができます。

* 設定中は、録画できません。

画像モードを変更するとmicroSDカードメンテナンスフリー機能により、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、記録ファイルが全て消去されます。あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。



1 画面の左下のMENUボタンをタップして、モード切替え画面に切り替える。

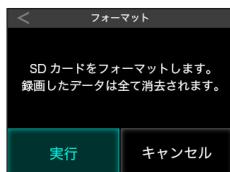
2 **【設定モード】** を選択 (タップ) する。

3 **【画像モード設定】** を選択 (タップ) する。
「画像モード設定」画面に切り替わります。

4 設定したい画像モードを選択 (タップ) する。

5 **【戻る】** をタップして設定を確認する。
ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生します。
* カスタムは画像または画質を変更するとフォーマットが発生します。

6 **【実行】** をタップする。
【キャンセル】 : 画像モード設定をキャンセルし、設定モードに戻る



7 **【実行】** をタップする。
【キャンセル】 : 画像モード設定をキャンセルし、設定モードに戻る
* 録画データが消去されます。事前にバックアップすることをおすすめします。



ディスプレイには「フォーマット実行中」と表示します。
フォーマット完了後、自動的に再起動をおこない、録画モードが開始されます。

その他の機能

再生モード

録画した記録映像を本機のディスプレイで再生することができます。

- * 再生モード中は、録画できません。
- * 外部モニターなどで再生することはできません。

1 画面の左下のMENUボタンをタップして、モード切替え画面に切り替える。



2 【再生モード】を選択（タップ）する。



3 【常時】または【イベント】を選択（タップ）する。「再生ファイル」画面に切り替わります。



4 [1]本体カメラ、または[2]別体カメラを選択（タップ）する。「再生ファイル」画面に切り替わります。



5 ファイルを選択（タップ）する。再生ファイルが多い場合は、画面右側の【▲▼】をタップし、ページをスクロールさせます。

- * 再生ファイル名は、P29 microSDカードの保存先とファイル名についてを参照してください。
- * ファイルは、記録された時間の順に表示されます。
- * パーキングモードでは常時録画、画質の設定によって1～7分まで変動します。
- * 再生ファイルは、常時録画で1分です。
- * ファイル名は実際の製品と異なります。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

サブファクター

安全運転支援機能（本体カメラ）

- * 本体カメラで前方の安全運転支援機能を動作します。
- * 「キャリブレーション」にて、設置する車に合わせて調整してください。（P41参照）
- * 夜間や悪天候時、また昼間でも路面や走行状況によって機能が動作しない、または頻繁に警告する場合があります。
- * 取り付けはできるだけ車両の左右の中央部に取り付けてください。中央部から外れますと判定誤差が大きくなり、警告しない、または頻繁に警告する場合があります。
- * 安全運転支援機能の動作は目安です。実際の道路状況にしたがって走行してください。
- * 安全運転支援機能による事故に関し弊社は一切の責任を負いかねます。

前車発車警告

停車時、前車が出発したことを警告します。



車間距離保持警告

設定した速度以上で走行時、前車との適正距離を保持するよう警告します。



車線逸脱警告

設定した速度以上で走行時、車線を逸脱すると警告します。



安全運転支援機能を使用する前に、キャリブレーションの設定（P41参照）をおこなう必要があります。

安全運転支援機能（本体カメラ）の設定内容一覧

安全運転支援機能（本体カメラ）メニュー	設定値	設定項目
前車発車警告	オフ	オン オフ
車間距離保持警告	オフ	40キロ/50キロ/60キロ/70キロ/80キロ/90キロ/100キロ オフ
車線逸脱警告	オフ	40キロ/50キロ/60キロ/70キロ/80キロ/90キロ/100キロ オフ
キャリブレーション		画面で調整します。（P41参照）
警告音	オン	オン オフ

キャリブレーション

安全運転支援機能を設置する車に合わせて調整します。

1 画面の左下のMENUボタンをタップして、モード切替え画面に切り替える。



2 【設定モード】を選択（タップ）する。



3 【▼】をタップして画面をスクロールさせ、【安全運転支援機能（本体カメラ）】を選択（タップ）する。



4 【▼】をタップして画面をスクロールさせ、【キャリブレーション】を選択（タップ）する。

車種を設定する

1 キャリブレーションから「車種」を選択する。

2 一覧から設置する車に近い車種を選ぶ。

- 乗用車
- SUV
- 大型車

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

サブ
メニュー

地平線（前方）を調整する

- 1 キャリブレーションから「地平線」を選択する。
- 2 画面を見て赤線が道路の先端にくるように【▲▼】をタップして調整する。



- 3 【戻る】をタッチする。

ボンネットを調整する

- 1 キャリブレーションから「ボンネット」を選択する。
- 2 画面を見て黄線の高さがボンネットの高さと同じになるように【▲▼】をタップして調整する。



* トラックなどボンネットが見えない車両の場合、線を一番下に設定してください。

- 3 【戻る】をタップする。

安全運転支援機能（別体カメラ）

- * 別体カメラで後方の安全運転支援機能を動作して煽り運転を防止します。
- * 「キャリブレーション」にて、設置する車に合わせて調整してください。（P44参照）
- * 夜間や悪天候時、また昼間でも路面や走行状況によって機能が動作しない、または頻繁に警告する場合があります。
- * リアガラスにスモークフィルムを貼っている場合、画像認識しにくいため機能が動作しないことがあります。
- * 取り付けはできるだけ車両の左右の中央部に取付けてください。中央部から外れますと判定誤差が大きくなり、警告しない、または頻繁に警告する場合があります。
- * 安全運転支援機能による事故に関し弊社は一切の責任を負いかねます。
- * 走行状況により後方からの接近の判断ができない場合があります。特に夜間、トンネル内等の暗い場所では判定率が下がるため誤判断（誤認）する場合があります。

後車接近警告

後車が接近すると、警告音やイベント録画をおこない、ドライバーに注意を促します。

- * 警告音設定でオン+イベント録画を設定すると、後方車が接近（煽り運転）時、イベント録画を開始します。



安全運転支援機能（別体カメラ）の設定内容一覧

安全運転支援機能（別体カメラ）メニュー	設定値	設定項目
後車接近警告	オフ 40 キロ 50 キロ 60 キロ 70 キロ 80 キロ 90 キロ 100 キロ オフ	後車接近警告が動作する走行速度を設定します。
キャリブレーション		画面で調整します。（P44 参照）
判定距離	10m 5m 10m	
警告音	オン オフ オン+イベント録画	

キャリブレーション

安全運転支援機能を設置する車に合わせて調整します。

- 1 画面の左下のMENUボタンをタップして、モード切替え画面に切り替える。



- 2 【設定モード】を選択（タップ）する。



- 3 【▼】をタップして画面をスクロールさせ、【安全運転支援機能（別体カメラ）】を選択（タップ）する。

地平線（別体カメラ）を調整する

- 1 キャリブレーションを選択する。
- 2 画面を見て緑線が道路の先端にくるように【▲▼】をタップして調整する。（上下の赤線2本は動きません。）



- 3 【戻る】をタップする。

GPSおしらせ機能

内蔵のGPSデータにより安全運転に役立つGPS警告をおこないます。MyCellstarで最新のGPSデータに更新できます。

- * GPSおしらせ機能（個別設定）をオンにしてください。
- * GPSの測位状態によっては、GPSおしらせ機能が動作しない場合があります。



取締機

オービスなど速度取締機の設置ポイントを500m手前でお知らせします。

- * 初期設定はオン



高速道逆走注意エリア

高速道路上の逆走が発生しやすいエリアをお知らせします。

- * 初期設定はオン
- * 同種のポイントが連続している場合、おしらせをスキップします。
- * ポイントによりおしらせする場所が変わります。



ゾーン30

生活道路における歩行者などの安全な通行を確保することを目的として、制限速度30キロに設定された区域（ゾーン30）をお知らせします。

- * 走行速度80km/h以下の時に警告します。
- * 初期設定はオン
- * 同種のポイントが連続している場合、おしらせをスキップします。
- * ポイントによりおしらせする場所が変わります。



事故多発エリア

事故発生率の高いエリアを500m手前でお知らせします。

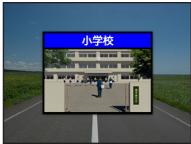
- * 走行速度80km/h以下の時に一般道に対し、80km/h以上の時に高速道に対し警告します。
- * 初期設定はオン
- * 同種のポイントが連続している場合、おしらせをスキップします。



事故多発路線

事故発生率の高い路線を500m手前でお知らせします。

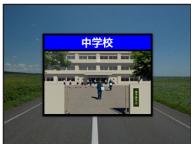
- * 走行速度80km/h以下の時に一般道に対し、80km/h以上の時に高速道に対し警告します。
- * 初期設定はオン
- * 同種のポイントが連続している場合、おしらせをスキップします。



小学校

学校付近でお知らせします。

- * 走行速度80km/h以下の時に警告します。
- * 初期設定はオフ
- * 同種のポイントが連続している場合、おしらせをスキップします。



中学校

学校付近でお知らせします。

- * 走行速度80km/h以下の時に警告します。
- * 初期設定はオフ
- * 同種のポイントが連続している場合、おしらせをスキップします。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

サブタイ
プス

MyCellstarについて

「MyCellstar」は、GPSデータのダウンロードをおこない、最新のGPSデータに更新ができます。詳しくは「MyCellstar」のサイトをご覧ください。

<http://www.mycellstar.jp>

■ 用意するもの

- 2GB以上のSDHC規格に準拠したFAT32形式でフォーマットされた空きのmicroSDカード
- * 付属のmicroSDカードにGPSデータを入れて更新しないでください。

■ パソコンの推奨環境

- OS : Windows (7/8/10以降)
Macintosh (MacOS X 10.5以上)
- CPU : Intel Core2 Duo相当性能
- メモリ : 1GB以上
- グラフィックメモリ : 256MB以上

■ スマートフォンの推奨環境

- OS : Android 5.0以降
- * iOS、Android 4.4、microSDカードスロットが無いスマートフォンには対応していません。
- * Android 5.0以降、SDカードの書き込み権限の設定が必要です。
- * スマートフォンは、メモリー状況、使用環境などさまざまな要因によりアプリが正常に動作しない場合があります。

パソコンでGPSデータをダウンロード

- 1 ブラウザでMyCellstar (<http://www.mycellstar.jp>) を開く。



2 リストからGL-05APを選択し、保存をクリックする。



3 GPSデータにチェックを付け、【次へ】ボタンをクリックする。



4 【ダウンロード】ボタンをクリックする。



はじめに

取り付けと
準備

基本操作

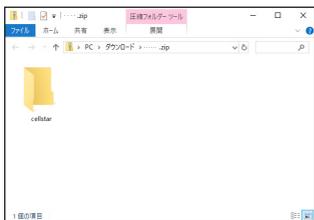
各種設定

困ったときは

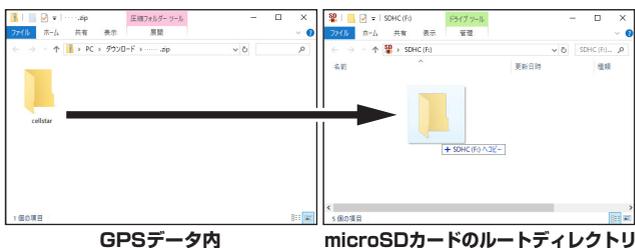
その他

アフター
サービス

5 ダウンロードされたGPSデータ（ZIPデータ）を開く。



6 GPSデータ内の「cellstar」フォルダごと microSDカードにコピーする。



最新のGPSデータが入ったmicroSDカードができあがります。

GPSデータ更新

「MyCellstar」からダウンロードした最新のGPSデータが入ったmicroSDカードを用意します。(P46参照)
詳しくは「MyCellstar」のサイトをご覧ください。

<http://www.mycellstar.jp/>

- 1 DCコードを外し、電源を切る。
- 2 最新のGPSデータが入ったmicroSDカードをmicroSDカードスロットに挿入する。(P23参照)
- 3 DCコードを接続して電源を入れる。
自動的にGPSデータが更新され、本体が再起動します。

GPSデータ更新中です。
この画面が消えるまで
電源を切らないでください。

GPSデータの版数確認

- 1 画面の左下のMENUボタンをタップして、モード切替え画面に切り替える。
- 2 設定モード→GPSお知らせ機能→データ情報



内蔵のGPSデータの版数が表示されます。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

サブメニュー

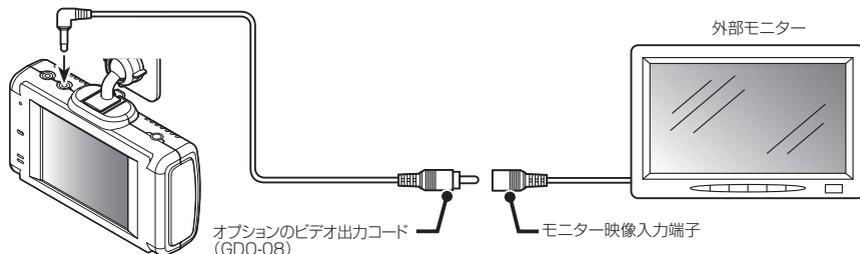
外部モニター表示

オプションのビデオ出力コード（GDO-08）で外部モニターに接続するとディスプレイの映像を外部のモニターに表示できます。（映像のみ、音声は出力されません）

⚠ 注意

- ・本機で記録した映像は、外部モニターなどで再生することはできません。必ず本機のディスプレイにて再生をおこなってください。
- ・V-OUTをオンにするとディスプレイがオフになります。本体の画面をタップするとモード切り替え画面になります。

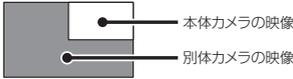
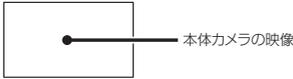
■ 外部モニターとの接続



- 1 画面の左下のMENUボタンをタップして、モード切替え画面に切り替える。
- 2 【設定モード】をタップする。
- 3 【▼】をタップして画面をスクロールさせ、【V-OUT】を選択（タップ）する。
- 4 【オン】を選択（タップ）する。
【戻る（メインメニューへ）】：「メインメニュー」画面に戻る
- 5 【戻る】を選択（タップ）して、モード切替え画面まで戻る。
- 6 【録画モード】を選択（タップ）して、常時録画をおこなう。
確定後、ディスプレイがオフになります。



外部モニターには次のように表示されます。本体の画面をロングタップするとカメラ映像が切り替わります。

別体カメラ表示	外部モニターの表示内容
オン	 <ul style="list-style-type: none"> 別体カメラの映像 本体カメラの映像
オン 優先	 <ul style="list-style-type: none"> 本体カメラの映像 別体カメラの映像
オフ	 <ul style="list-style-type: none"> 本体カメラの映像
メイン	 <ul style="list-style-type: none"> 別体カメラの映像

- * モニターの種類によっては端子の形状が異なる場合があります。
- * 電源ON時、一時映像が乱れることがありますが、異常動作ではありません。
- * 本体の画面をタップすると、モード切り替え画面になります。
- * V-OUT（ビデオ出力）がオン時はクイック録画は使用できません。
- * オプションのビデオ出力コード（GDO-08）を外しても自動で切り替わりません。
- * 必ずオプションのビデオ出力コード（GDO-08）をご使用ください。他のコードを使用すると映像が正しく表示されない、または誤動作を起こす場合があります。

GPS測位について

GPSを利用した機能を使用するために、GPSの測位確定が必要となります。本機の電源が入ると、自動的にGPS測位がはじまります。GPS測位が確定すると「♪GPSを測位しました。」とお知らせします。

✓ アドバイス

お買い求めただいて、初めてお使いになる場合

- GPS測位が確定するまでに時間がかかる場合がありますが（15分程度）これは製品不良や故障などではありません。あらかじめご了承ください。GPS測位に20分以上かかる場合は、電源を入れなおしてください。
- トンネル内、高架下、ビルの谷間、森林の中や高圧電線、高出力無線の近くなどではGPSを測位しにくくなる場合があります。
- GPS機能を使用するには、GPS測位中、またはトリプルセンサーの計測中に限られます。

超速 GPS について

自転車位置を素早く約10秒でGPSを測位するので、ドライブをスムーズにスタートします。

✓ アドバイス

- GPS衛星を受信しにくい条件の場合、時間がかかる場合があります。
- 前回のGPS受信から72時間を経過すると超速GPSは機能しません。その他、様々な条件により機能しない場合があります。
- 最後に電源をOFFにしてから直線距離で300km以上離れた地点で電源をONにした場合、最後に電源をOFFにして次に電源をONしたときにGPS衛星の状態が異なる場合は、動作に時間がかかる場合があります。

業界最多の対応衛星

GPS、グロナス衛星、ガリレオ衛星、準天頂衛星みちびき4種類81基の衛星を受信可能。

- * 2019年9月現在稼働数より（一時使用禁止衛星を除く）



準天頂衛星みちびき

準天頂衛星みちびきにより、サブメーター級測位補強情報受信に対応。また、災害・危機管理通報サービスを受信することができます。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

サブメニュー

災害・危機管理通報機能

お知らせする情報について

本機は、日本全国をおおまかな14の地方（北海道、東北、関東、伊豆諸島、小笠原、北陸、甲信、東海、近畿、中国、四国、九州、奄美群島、沖縄）に分類し、本機が対象地方に含まれる情報だけをお知らせします。

（本機の場所がどの地方に含まれるかは、GPSの測位情報から自動的に判断しています）

対象地方を持たない情報については、本機の場所とは関係なく全てお知らせします。

- * ※対象地方を持たない情報
 - ・ 震源情報：南海トラフ地震情報・北西太平洋津波情報・台風情報
 - また、災害・危機管理通報の割込通知機能は「通報区分」ごとに動作のオン・オフを設定できます。
- * 災害情報は気象庁が発表しています。
- * 危機管理情報は内閣府などによるもので2019年1月現在運用されておりません。
- * 災害・危機管理通報は、気象庁・内閣府などの発表からの理論上の最大遅延時間や電波受信状況により遅延が生じるため、他の機器（携帯電話など）で受信されるタイミングとは一致しません。

通報区分	災害種別	条件
最優先	緊急地震速報	—
	津波	・ 津波警報 ・ 大津波警報
	震源	—
	震度	—
	南海トラフ地震 北西太平洋津波	—
優先	火山	以下のいずれか ・ レベル4（避難準備） ・ レベル5（避難） ・ 山麓嚴重警戒 ・ 居住地域嚴重警戒 ・ 噴火警報：避難等 ・ 噴火警報：当該居住地域嚴重警戒 ・ 噴火警報：当該山麓嚴重警戒 ・ 噴火 ・ 噴火したもよう
	降灰	—
	気象	発表
	洪水	警戒レベルが以下のいずれか ・ 氾濫警戒情報 ・ 氾濫危険情報 ・ 氾濫発生情報
	津波	・ 津波無し ・ 警報解除
通常	火山	以下のいずれか ・ 噴火警報 ・ 火口周辺警戒 ・ 噴火警報（周辺海域） ・ レベル2（火口周辺規制） ・ レベル3（入山規制） ・ 火口周辺危険 ・ 入山危険 ・ 海上警報（噴火警報） ・ 周辺海域警戒 ・ 噴火警報：入山規制等 ・ 火口周辺警戒：入山規制等 ・ 噴火警報（周辺海域）：周辺海域警戒 ・ 噴火警報：火口周辺警戒 ・ 火口周辺警戒：火口周辺警戒 ・ 噴火予報：警報解除 ・ 噴火予報 ・ レベル1（活火山であることに留意） ・ 活火山であることに留意 ・ 海上警報（噴火警報解除） ・ 海上警報（噴火予報） ・ 活火山であることに留意（海底火山）
	気象	解除
	洪水	警報解除
	台風	—

災害・危機管理通報設定

常時録画中に割り込む災害・危機管理通報を通報区分で設定できます。

- * 警告中は「最優先」の情報のみ割り込みます。
- * 設定モードなど本機の操作中は割り込みしません。

1 画面の左下のMENUボタンをタップして、モード切替え画面に切り替える。

2 【設定モード】をタップする。



3 【▼】をタップして画面をスクロールさせ、「災害・危機管理通報設定」を選択（タップ）する。

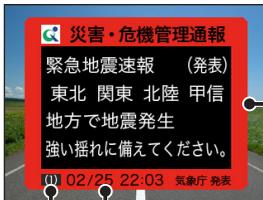


4 通報区分（P52参照）ごとに割り込みの有無を設定する

災害・危機管理通報例

■ 緊急地震速報（最優先）を受信した場合

- * 常時録画動作中に表示されます。（常時録画動作中以外に受信した情報は保留されます。ただし、パーキングモード動作中は災害通報の受信は行いません）
- * 自車位置が警報対象地域に含まれる情報だけを表示します。（例外として「震源」、「南海トラフ地震」、「北西太平洋津波」、「台風」は、現在地に関係なく表示します）
- * 報知画面の内容を確認したら、画面をタッチすることで表示が解除されます。保留されている情報がある場合は、すぐに次の情報が表示されます。



通報区分（ワクの色）
 最優先 : 赤色
 優先 : 黄色
 通常 : 緑色

発表日時

未読件数（無しのときはハイフン）

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

サブタイ
プス

フォーマット

microSDカードを初期化し、設定した録画画質によって microSDカードにセルスター独自のファイルシステムが適応されます。

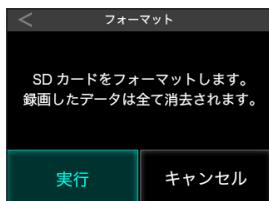
* microSDカード内の記録ファイルが全て消去されます。あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。本機でフォーマットしても本体の設定値は工場出荷時に戻りません。

1 画面の左下のMENUボタンをタップして、モード切替え画面に切り替える。



2 【設定モード】を選択（タップ）する。

3 【▼】をタップして画面をスクロールさせ、【フォーマット】を選択（タップ）する。



4 【実行】をタップする。
【キャンセル】：「設定モード」画面に戻る



5 【実行】をタップする。
【キャンセル】：「フォーマット」画面に戻る

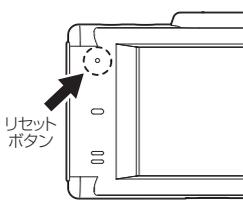


ディスプレイには「フォーマット実行中」と表示します。フォーマット完了後、自動的に再起動をおこない、録画モードが開始されます。

システムリセットと本体初期化+microSDカードフォーマット

本機が誤動作したり、止まってしまった場合、システムリセットまたは強制初期化をおこなってください。

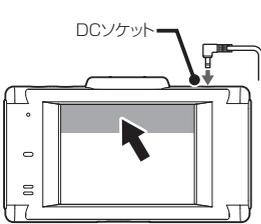
システムリセット



- 1 ピンなどを使用してリセットボタンを押す。
本機がリセットされます。

本体初期化+microSDカードフォーマット

* microSDカード内の記録ファイルが全て消去されます。あらかじめ、パソコンなどにバックアップすることをおすすめします。強制初期化をおこなうと、本体の設定値が工場出荷時（P35～P37）に戻ります。必要に応じて再設定をおこなってください。



- 1 DCコードのプラグを抜き、電源をOFFにする。
- 2 画面の上部（本体反転時も上部）をタップしながらDCコードのプラグを接続し、電源を入れると、フォーマット動作に切り替わる。
- 3 フォーマットが実行される。

はじめに

取り付けと準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフターサービス

キャリブレーション設定

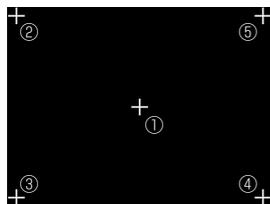
タッチパネルの反応にズレが発生した場合、キャリブレーション設定にてタッチパネルを補正してください。

- 1 画面の左下のMENUボタンをタップして、モード切替え画面に切り替える。



- 2 【設定モード】をタップする。

- 3 【▼】をタップして画面をスクロールさせ、【キャリブレーション設定】をタップする。



- 4 ①～⑤まで順番で十字（+）表示の真ん中をタップする。
選択が完了すると、キャリブレーション設定を終了し、メインメニューへ切り替わります。

タッチパネルの補正に失敗した場合

タッチ補正に失敗しました。
もう一度、正確に画面の「+」表示を押してください。

左のエラー画面が表示されます。
再度、キャリブレーション設定をおこなってください。

ドライブレコーダー専用ビューアソフトについて

本機で録画した映像の記録データの確認や本機の設定をパソコンでおこなうことができます。

専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は、弊社ホームページの製品ページからダウンロードします。

http://www.cellstar.co.jp/dlfm/download_viewer.php

専用ビューアソフトの動作環境

- CPU： Pentium 4 以上
- OS： Windows 7 / 8 / 10 以上
- メモリ： 1GB 以上
- HDD： 4GB 以上
- GPU： Direct X 9.0c 以上に対応するGPU

- 1 viewer.zipをダウンロードして、圧縮解凍ソフトでファイルを解凍する。
- 2 viewerフォルダを開く。
- 3 フォルダ内の専用ビューア説明書を参照し、専用ビューアソフトをインストールする。
- 4 setup.exeを起動するとインストールが開始される。

専用ビューアソフトの使い方は、「専用ビューア説明書.pdf」をご覧ください。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次のことをご確認ください。
また、弊社ホームページのよくあるご質問（FAQ）を参照してください。
<https://faq.cellstar.co.jp/>



症状	考えられる原因	参照
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> • 本機のDCジャックとDCコードは接続されていますか。 • 直結配線用DCコードのヒューズが切れていませんか。 • 本機は専用のDCコード（3極DCプラグ）を使用してください。 	P21、P25
	<ul style="list-style-type: none"> • microSDカードは正しく挿入されていますか。 • * microSD カードが挿入されていないと本機は動作しません。 	P23
起動時間が長い	<ul style="list-style-type: none"> • microSDカードの容量によっては起動時間が長くなる場合があります。 	P6
録画が開始されない	<ul style="list-style-type: none"> • microSDカードは正しく挿入されていますか。 • * microSD カードに異常がある場合もエラーとなり録画が開始されません。その場合は、microSD カードを取り換えてご使用ください。その際は指定の microSD カードをご使用ください。 	P6 P23-P24
	<ul style="list-style-type: none"> • microSDカード内の記録ファイルが破損した可能性があります。 • * microSD カードをフォーマットしてください。 	P54
急ブレーキや急加速のときでも、データが保護されない。または直ぐに反応してしまう	<ul style="list-style-type: none"> • 「3Gセンサー感度」を調整してください。 • *使用状況に合わせて、この設定を調整することをおすすめします。 	P35
ひんばんにイベント録画されるまたは録画されない	<ul style="list-style-type: none"> • 「3Gセンサー感度」を調整してください。 • *使用状況に合わせて、この設定を調整することをおすすめします。 	P35
画面を表示しない	<ul style="list-style-type: none"> • 画面がオフになっていませんか。 • V-OUT（ビデオ出力）がオンになっていませんか。 	P36
再起動する	<ul style="list-style-type: none"> • 本機に異常があった場合、連続動作するために自動的に再起動し復帰しますが、異常動作ではありません。 	—
録画したデータと実際の走行状況が違う	<ul style="list-style-type: none"> • 日時、車両の走行速度、位置情報は、GPSの測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります。 	—
パーキングモードを設定できない	<ul style="list-style-type: none"> • 本機が常時電源コードを認識していません。エンジンをかけなおしてください。 	—
設定中に、フォーマット動作になった	<ul style="list-style-type: none"> • 画像モード設定の変更をされていませんか。変更した場合、microSDカードメンテナンスフリー機能を使用するため、フォーマットが発生し、記録ファイルが消去されます。バックアップされていない場合、DCプラグを抜いて電源がOFFになっていることを確認し、microSDカードを抜きパソコンなどにファイルのコピーでバックアップをおこなうことをおすすめします。 	P24 P38
	<ul style="list-style-type: none"> • 本機以外でフォーマットをおこなっていませんか。 • 新しいmicroSDカードに交換していませんか。 • * microSD カード内に本機の設定ファイルが無いため設定が初期値に戻ります。再設定をおこなってください。 	P23

製品の仕様

■GL-05APの仕様

本体カメラ	撮像素子	200万画素 カラー CMOS センサー
	フレームレート	30fps
	視野角	水平 119°、垂直 62°、対角 147°
	F 値	2
	最低被写体照度	2LUX
	録画画素数	200万画素 (FullHD) / 100万画像 (HD) / 35万画素 (D1)
別体カメラ	撮像素子	200万画素 カラー CMOS センサー
	フレームレート	30fps
	視野角	水平 114°、垂直 61°、対角 141°
	F 値	2
	最低被写体照度	2LUX
	録画画素数	200万画素 (FullHD) / 100万画像 (HD) / 35万画素 (D1)
録画画質	FullHD	高画質 (12Mbps) / 標準 (10Mbps) / 低画質 (8Mbps)
	HD	高画質 (7Mbps) / 標準 (5Mbps) / 低画質 (3Mbps)
	D1	高画質 (2Mbps) / 標準 (1.5Mbps) / 低画質 (1Mbps)
本体カメラ 録画画角	FullHD	水平 119°、垂直 62°、対角 147°
	HD	水平 119°、垂直 62°、対角 147°
	D1	水平 101°、垂直 62°、対角 129°
別体カメラ 録画画角	FullHD	水平 114°、垂直 61°、対角 141°
	HD	水平 114°、垂直 61°、対角 141°
	D1	水平 96°、垂直 61°、対角 123°
録画圧縮		録画 AVI (H.264)、静止画 JPEG
録画トリガ		常時録画 / 常時録画+イベント録画 / クイック録画
GPS		有り
HDR		有り
3G センサー		有り (衝撃感度 10段階)
対応外部記憶媒体		microSD カード 8GB ~ 32GB (クラス 10/SDHC 規格準拠、NAND タイプは「MLC」を推奨)、64GB (クラス 10/SDXC 規格準拠、UHS スピードクラス: UHS-1 以上、NAND タイプは「MLC」を推奨) * 弊社オプション GDO-SD32G1、GDO-SD64G1 推奨
記録データ		日時、加速度、走行速度、位置情報、映像ファイル
音声録音		有り (オン、オフ設定可)
外部映像出力		有り (本体ディスプレイか外部かどちらか一方のみ) * 再生時なし
インターネット地図連動		有り
電源電圧		DC12V/24V
動作温度範囲		-10℃ ~ +60℃
本体サイズ		93 (W) × 25 (D) × 51 (H) mm (突起部含まず) * マウントベース取り付け時 82 (H) mm
本体重量		116g
別体カメラサイズ		34.5 (W) × 16 (D) × 34.5 (H) mm (突起部含まず) * マウントベース取り付け時 59 (H) mm
別体カメラ重量		19g
カメラ接続コード		9.0m
保証期間		3年

* 「ドライブレコーダー協会ガイドライン」に基づく表記。

* 録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートが変わる場合があります。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

各種設定

困ったときは

その他

サブタイ
プス I

■撮影可能時間の目安

microSD カードの容量		録画品質		
		高画質 常時録画 / イベント録画	標準 常時録画 / イベント録画	低画質 常時録画 / イベント録画
32GB	FullHD	約 98 分 / 約 27 分	約 120 分 / 約 33 分	約 144 分 / 約 39 分
	HD	約 166 分 / 約 44 分	約 240 分 / 約 66 分	約 362 分 / 約 97 分
	D1	約 402 分 / 約 97 分	約 544 分 / 約 126 分	約 844 分 / 約 154 分
64GB	FullHD	約 196 分 / 約 53 分	約 240 分 / 約 65 分	約 288 分 / 約 83 分
	HD	約 332 分 / 約 88 分	約 480 分 / 約 132 分	約 724 分 / 約 193 分
	D1	約 804 分 / 約 193 分	約 1088 分 / 約 252 分	約 1688 分 / 約 304 分

microSDカードのデータについて

■データ保存について

- イベント録画フォルダ (EVENT)
イベントが発生した動画または、クイック録画機能で録画した動画を保存します。
(microSDカード全体容量の20%を使用)
- 常時録画フォルダ (INFINITE)
常時録画された1分間の動画* または、パーキングモードのモーション録画で録画された動画を保存します。
(microSDカード全体容量の73%を使用)
- 撮影フォルダ (CAPTURE)
キャプチャーした画像を保存します。(microSDカード全体容量の2%を使用)

はじめに

取り付けと
準備

基本
操作

各種
設定

困ったときは

その他

アフター
サービス

アフターサービスについて

修理に関して

■ 修理に必要なもの

- ・取扱説明書（保証書欄、修理受付票記入）
- ・修理する製品

■ 保証書と修理受付票のご記入に関して

保証期間中

本書裏表紙の保証書と修理受付票（P63参照）に必要な事項をご記入の上、製品に添付して修理受付窓口までお送りください。保証書の規定にしたがって無料で修理および調整させていただきます。

- * ご注意：保証期間中であっても有償修理となる場合がございますので保証規定をよくお読みください。保証書の所定事項（製品名、お買い上げ日、販売店名など）に記入がない場合は、有償修理となります。保証期間中であっても、部品入手不可能により修理ができなくなる場合があります。

保証期間が過ぎてるとき

修理受付票（P63参照）に必要な事項をご記入の上、製品に添付して修理受付窓口までお送りください。

■ 修理受付票に関して

ダウンロードをご希望のお客様

インターネットブラウザより以下のアドレスにアクセスしてください。

（修理受付票PDF ダウンロード：48KB）

http://www.cellstar.co.jp/products/customer/repair_card.pdf

■ 修理をご依頼される前に

- 1 故障かな？と思ったら（P58参照）を参考に故障かどうかをご確認ください。
- 2 弊社ホームページ「お客様サポート」－「よくあるご質問（FAQ）」をご確認ください。
- 3 弊社ホームページに修理金額の目安が記載されています。事前にご確認ください。

http://www.cellstar.co.jp/customer/repair_price.pdf

- * ご依頼内容の確認のため、記入後必ずコピーを取りお客様控えとしてお手元に保管してください。
- * セルスター工業アフターサービスへ修理品をご送付いただく際、迅速かつ適切な修理をおこなうため、本書裏表紙の保証書と修理受付票（P63参照）に必要な事項をご記入の上、製品に添付してください。
- * 修理品などをお送りいただく際の送料に関しては、お客様負担となります。あらかじめご了承ください。
- * 名称、所在地、電話番号は変更される場合があります。ご確認ください。

■ 修理の流れ

1 ご不明な点は、セルスター工業カスタマーサービスにご連絡ください。

 0570-006867（ナビダイヤル）

 0120-75-6867（フリーダイヤル）

[受付時間] 9:00～18:00

（土・日・祝日および、弊社休業日を除く）

携帯電話・PHS・IP電話などフリーダイヤルがご利用にならない場合:0570-006867

- * 修理する製品、保証書をお手元にご用意の上でおかけになるとスムーズにご相談いただけます。

2 修理品の送付先
セルスター工業 アフターサービス

〒518-1145

三重県伊賀市安場 1608-5

TEL. 0120-75-6867

お客様へのお願い

- * 修理・点検作業の際、本機は工場出荷状態に戻ります。お客様が設定した内容や、記録した位置データなどはすべて消去されます。あらかじめご了承ください。
- * 保証期間の有無に関わらず、送料はお客様のご負担となります。あらかじめご了承ください。
- * 運送中の衝撃などに耐えられるよう、梱包をお願いします。
- * 運送中の破損紛失などについては、弊社では一切の責任を負いません。
- * 有償修理作業完了後、代金引換便にてご返送させていただきます。（処分依頼はお受けいたしませんので、ご返却させていただきます）

個人情報の利用目的について

本機に対するお問い合わせや修理をご依頼される場合の個人情報は次の目的のみ利用されます。

- ① 弊社製品・サービスに関するお問い合わせ、ご相談、修理などに対応するため。
- ② 製品の企画、開発、販売促進、営業活動にお客様のご要望を反映させるため、および満足度向上などの検討に必要な参考資料とするため。

修理受付票

製品名：GL-05AP

ご依頼される前に必ず取扱説明書（本書）をお読みいただき、修理受付票と、裏表紙の保証書にご記入の上、修理依頼品と一緒に添付してお送りください。

お客様ご記入欄

お客様名：	ご住所：□□□□-□□□□□□
ご自宅電話番号：	
FAX番号：	
日中で連絡可能な電話番号：	<input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> ご勤務先 <input type="checkbox"/> その他（ ）
ご購入日：	microSDカードのデータ等の消失に関する同意確認 ・お預かりした製品に付属のmicroSDカードのデータは、弊社でバックアップをおこないません。修理の内容によってmicroSDカードを初期化することがあります。いかなる場合でもデータの補償はいたしません。ご了承ください。 ※本項のご署名が無い場合、修理をせずにご返却させていただきます。
同梱した付属品：合計（ ）点	本項の内容について同意します。ご署名
①	お見積り連絡： <input type="checkbox"/> 不要 / <input type="checkbox"/> 必要（ ）円以上の修理の場合に連絡
②	※不要を選択の場合、お見積り金額に問わず、修理させていただきます。
③	具体的な症状： <input type="checkbox"/> 常に発生する <input type="checkbox"/> 時々発生する <input type="checkbox"/> 特定の条件で発生する
④	できるだけ詳しくご記入ください。
⑤
⑥
⑦
⑧
修理品返却先	※上記住所以外への返却の場合にご記入ください。
お客様名：	ご住所：
ご自宅電話番号：	

保証書

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえお受け取りになり、保証内容をよくお読みのと、大切に保管してください。

本証は、弊社の厳密な検査のもと生産、出荷されたものであることを証明し、本証の保証期間内に正常な使用状態において故障した場合には、本証記載内容のとおり無料で修理および調整をおこなうことをお約束するものです。修理をご依頼する際には修理受付票（P63参照）も併せてご記入ください。

製品名：GL-05AP	お買い上げ年月日： 年 月 日
販売店様 ※必ず、ご記入ください。	保証期間 3年 お買い上げ 年月日から 3年間有効
ご住所：	
お電話：	
	

以下の場合は保証の対象外となります。

- ①本製品に付属の取扱説明書に記載された使用方法や注意事項に反した取扱によって生じた故障・破損
- ②誤用・乱用および取扱不注意による故障
- ③火災・地震・風水害・落雷・その他天災地変や公害・塩害・水掛かり・異常電圧による故障
- ④不当な修理に起因する故障や、分解・改造の痕跡がみられる故障
- ⑤使用中に生じた傷など外觀上の変化
- ⑥保存状態が適切でなかった場合
- ⑦業務目的でご使用になった場合
- ⑧バッテリー・ディスプレイ・microSDカードなど消耗品および付属品の交換
- ⑨本証の提示がない場合
- ⑩本証の所定事項（お買い上げ日、販売店名など）に記入がない場合

- ・取付不良、接続不良、不適切な使用状態による車の故障や事故などの附随的損害の補償については一切この責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- ・本証は日本国内においてのみ有効です。また本証の再発行はいたしませんので大切に保存ください。

修理・点検をご依頼される際の注意事項

設定の記憶やお客様が情報を登録できる製品につきましては、修理・点検作業の際、本製品は工場出荷状態に戻ります。お客様が設定した内容や、記録した位置データなどはすべて消去されます。あらかじめご了承ください。

販売店様へのお願い 保証書欄にお買い上げ年月日、店名、ご住所、お電話番号をご記入の上、お客様へお渡しください。

お客様相談窓口

■電話でのお問い合わせ

<個人のお客様> カスタマーサービス
[受付時間] 9:00～18:00(土・祝日および、弊社休業日を除く)

 **0570-006867** (ナビダイヤル)

 **0120-75-6867** (フリーダイヤル)

携帯電話・PHS・IP電話などフリーダイヤルがご利用にならない場合：0570-006867

<法人のお客様> セルスター工業株式会社 本社 (代)
[受付時間] 9:00～18:00(土・祝日および、弊社休業日を除く)
TEL.046-273-1100 (代) / FAX.046-273-1106

■メールでのお問い合わせ

弊社ホームページのよくあるご質問 (FAQ) より質問を送信してください。
<https://faq.cellstar.co.jp/>



「全国自動車用品工業会会員」「ドライブレコーダー協議会会員」「東京都自動車部品組合員」

CELLSTAR® **セルスター工業株式会社**